

地方史情報 117

2013年12月

「空間史学」への期待

長岡 龍作

人文学、ことに歴史学は資料学である。この場合の資料は、人間が遺した文化的痕跡あるいは表象と言い換えてもよい。人間の過去の営みは何らかの素材を通して知られる。それゆえ、資料を読み解くためには、その成り立ちを知ることが求められる。対象とする資料の特性を十分に知り、資料の種類に応じたスキルを身につけることが学問の基本である。それは、美術史学においても同様である。美術という表象の特性を知ることが美術史家をこの分野の専門家とするのである。あらゆる資料の特性を正しく知るとはとても困難である。資料学である限り、歴史学は分野を超えて研究をおこなうことがなかなか難しい。

そのように考えていた時、「空間史学」という研究会への誘いを受けた。このように切り取ると、その歴史学は「空間」を通して歴史を知る、つまり「空間」を歴史資料とする分野となる。そのため、空間の特性を知り、それを扱うスキルが求められる。

私はこの15年ほど「美術の場」をめぐる問題を考えてきた。美術が生まれ、使われ、伝えられる場とはどのようなものかという関心である。この関心から「空間史学」に近づくならば、「美術の場」もまた歴史資料としての空間には違いないと思当たる。

この場合の空間は、美術と文字という一次資料から構成されたメタ空間である。歴史的空間がそのまま遺ることはまずないから、空間は必ず既存の資料に基づいて構成される。したがって、空間を資料として扱うスキルは、特定の分野に固有のものにはならない。というよりも、空間を資料として扱う十全なスキルを得ることはかなわないに違いない。「空間史学」研究会が大きな可能性を持つのは、まさにこの点にある。歴史資料としての「空間」とは何なのか、歴史的「空間」はどのように語られるのか。既存の分野がそれぞれのやり方で空間の語り方を追究する。これまでの研究会は、それを確かめ合うことが豊かな実りとなることを実感させてくれた。

「空間史学」研究会への私のもう一つの期待は、見えない世界への眼差しを、分野を越えて共有することである。近代以前の歴史的空間は、多くの場合閉じてはいない。見えない他界への回路を必ずや孕んでいることが予想されるのである。美術はそのような空間観の視覚的な表象なのだ。日本の前近代に関心を持つ私が、他の地域、他の時代の事例に近づくととてもよい機会をこの研究会は与えてくれる。この魅力的な作業が長く続くことを期待してやまない。(空間史学研究会編『痕跡と叙述』小社刊より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

- ◆屯田 北海道屯田倶楽部
〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 1985年創刊 年2000円
www2.ocn.ne.jp/~history/
◇53 2013.4 B5 80p 1000円
巻頭言 屯田兵制度が残したもの 後藤 良二
受け継がれる開拓者魂 まちづく
り支えて130年 宮坂友子さん
新・屯田兵物語(1) プロローグ
一伊藤廣先生との思い出 小松 重紀
屯田兵のデザイン考
屯田兵洋造附ストーブ
屯田兵前史 津軽藩士殉難の歴史
と蝦夷地警備(前) 中神 哲二
一節抜粋 川嶋康男著『北限の稲
作にいとむ』、榎本洋介著『島
義勇 1822-1874』
屯田兵公有財産をめぐる(11)
屯田兵恩給支給運動の明暗 河野 民雄
東西南北 屯田兵のふるさと「め
ぐる旅」報告会開催／屯田兵伝
主の獅子舞が里帰り／開拓記念
碑に子孫が参拝／児童が開拓期
の生活を体験／屯田ふるさとま
つり賑わう／開村祭で労苦しの
ぶ／町民が兵屋など見学
古地図の散歩道 明治10年作成
「八代ヨリ人吉ニ至道程細図」
侵攻作戦支えた地理情報 江口 憲人
表紙から 屯田兵物語 熊のすん

- でた村 著者・坂東三百／挿
絵・笹川治男
北垣国道の意外な経歴と北海道開
拓構想一再評価が望まれる功績
と人間性 北国 諒星
屯田兵と北辰旗—開拓使文書から
たどる制定の経緯 佐藤 公子
101年目からの屯田兵研究
世界精神遺産を未来へ 梶田 博昭
図説 北海道屯田兵制度(3) 兵村
の収穫総額の推移／産品別収穫
高の構成比の変化
事務局だより／八重の里に眠るド
イツ人
◆文化情報 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111
www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇337 2013.5 B4 4p
モヨロ貝塚館リニューアルオーブ
ン 米村 衛
平成25年度の活動方針などを承認
／平成25年度通常総会日程
引き継がれる芸
観阿弥・世阿弥生誕記念能 舟山 廣治
世界文化遺産への登録をめざして
(14)—共通ロゴマークの決定
「文化財講演会」抄録
文書館の宝物 鶴原美恵子
国・道、文化財の紹介 国指定重
要文化財 札文町船泊遺跡出土
品(考古資料)が国の重要文化財

- に
北海道文化財保護協会顧問
太田善繁さんを偲んで 竹田 輝雄
まちづくりのバトンは子供たちへ
駒木 定正
私と文化財 文化財を「活かす」 石神 敏
読者の声
サッポロビール協賛「第1回文
化財保護活動支援チャリティ
講演会&交流の夕べ」終わる (YH)
羽幌町郷土資料館 関川 修司
講演会の御案内／他団体の刊行
物等
寄贈刊行物の紹介「旭川市北邦
野草園・研究報告第一号」 舟山 廣治
◆北海道れきけん 北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/
◇79 2013.5 B5 8p
第30回定期総会終わる
(平成25年度) (田中)
樺太巡検 今野 淳子
ロシア語の響き 橋本とおる
受領資料等／事務局だより
◆東奥文化 青森県文化財保護協会
〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県立図書館内 年4000円 1955年創刊
◇84 2013.3 A5 116p
表紙説明 大日靈貴神社
グラビア 平成24年度地方史研究
発表会／史跡巡り “平泉”を支
えた交易の道 “奥大道”いしぶ
みの道
平成24年度青森県文化財保護行政
について 青森県教育庁文化財保護課

- 郡場寛の生涯 山内 智
廻船問屋野村治三郎と大坂廻船—
弘前藩御用商人瀧屋善五郎との
米取引を中心として 宮澤 秀男
地図と軍部との関わり
—「弘前」「青森」図を中心に 小熊 健
下北半島における仏像文化につい
て 滝尻 善英
「きぬ女—類口上書写」考 伊藤 一允
弘前藩の地方制度 郷土西田三郎
右衛門『御用留』による一考察
(2) 木村 慎一
事務局だより 川村 眞一
◆東北文化研究室紀要
〒980-0862仙台市青葉区川内
東北大学大学院文学研究科 1959年創刊
◇54 2013.3 B5 124p
幕末維新期、村・地域社会の民衆
運動と高拔地—出羽国村山郡の
課題 森谷 圓人
〈2012年度 東北文化公開講演会
表象としての身体—死の文化の諸相〉
発表1 死に逝く身体と〈向き合う〉
ということ—看取りの現場から
近田真美子／鳴海幸
発表2
儒礼における埋葬への視線 高橋 恭寛
発表3 〈死体なき墓〉と墓参
—宮城県岩沼市の被災墓地 小田島建己
発表4 弘智法印について ジョン=モリス
発表5 インド・チベット密教にお
ける死兆と臨終儀礼 菊谷 竜太
講演1 埋葬の現場における身体 小谷みどり
講演2 西洋古代における死とその
表象 羽賀 京子
講演3 死の概念形成と身体 杉山 幸子
講演4

死絵における死のイメージ 山田 慎也
日本列島の旧石器時代編年と地域
性の成立について—東北地方と
九州地方の資料群の比較から 柳田 俊雄
竹駒神社の神職にみる清めの意味
アリマンシヤル

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文
学部 日本史研究室 TEL022-217-6064
年4000円 1949年創刊

www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/

◇120 2013.4 A5 158p 2100円

18世紀〈変容する地域と民衆移動〉
—盛岡藩「宗門人別目録」をて
がかりに 浪川 健治

宿場における売買春存立の一考察
—奥州郡山宿の判元見届人・見
廻り分析 武林 弘恵

近世後期、非領国地域の困窮百姓
相続・村再建仕法—出羽国村山
郡幕府東根代官所領を事例とし
て 森谷 圓人

近世後期蝦夷地における他国者の
埋葬・供養をめぐる意識—福山
城下・弘前城下の比較を通じて
瀬谷 悠子

研究ノート 明治10年の新潟県新
聞紙上における仏教・キリスト
教宗教論争と押川方義の教理理
解 小林 敏志

書評 河西晃祐著『帝国日本の拡
張と崩壊「大東亜共栄圏」の歴
史的展開』 手嶋 泰伸

紹介 黒川正剛著『魔女とメラン
コリー』 楠 義彦

2012年度 東北史学会・岩手史学
会合同大会

2012年度東北史学会大会

公開講演要旨
平安時代における奥州の規定性
—九世紀陸奥海溝地震を切り
口に 保立 道久
「生存」を問い直す歴史学—震
災後の現在と岩手県の戦後史
との往還を通じて 大門 正克

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55

古四王神社社務所内 TEL018-845-0333

1981年創刊

w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html

◇79 2013.5 B5 66p

菅江真澄と信濃—「式内社」顕彰
運動に与えた影響 牛山 佳幸
真澄が情報を入手した津村浣庵の

文筆 菊地 利雄
地誌『雪の出羽路平鹿郡』にみる
菅江真澄の執筆態度 田口 昌樹

『ひなの一ふし』にみる民謡の源
流と変遷(2) 菊地 利雄
真澄墨妙 伊藤 徳治

菅江真澄と自然観察 小笹 鉄文
真澄の一枚11) きつねの館 『粉
本稿』より(大館市立中央図書

館提供) 菊地 利雄
真澄短信

◆さあべい さあべい同人会

〒999-3701山形県東根市本丸北1-5-11

保角里志方 1970年創刊

◇28 2013.4 B5 119p

巻頭調査報告—天童城跡縄張り調
査 天童城跡の地表面観察(縄

張り)調査報告 保角 里志
調査報告研究

山形県内陸部平野山窯跡群と出
羽国府城輪軸跡 植松 暁彦
南北朝期における城館築館考 佐藤 鎮雄

長瀬城の地籍図による復元 梅津 操
「楯岡城」絵図の検証 大沼與右エ門
山辺荘の板碑

—その特徴をさぐる 三浦 浩人
山形県内の宝篋印塔と宝篋印塔
型墓塔について 川崎 利夫

山形市の中世石像美術「宝篋印
塔・層塔」 加藤 和徳

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター
研究紀要

〒990-9530山形市上桜田3-4-5

TEL023-627-2168 2002年創刊

gs.tuad.ac.jp/tobunken/

◇12 2013.3 A4 60+127p

縄紋時代早期論(下) 安斎 正人
中尊寺供養願文の偽作説について
入間田宣夫

明治初頭～10年代における漁村の
秩序と変容Ⅱ—伊豆国内浦小海
村を対象に 中村 只吾

鎮守神と屋敷神、そして女性たち
の祈りのかたち—山形県西村山
地域に所在する小新・弥勒寺両
地区の事例から 鈴木 明里

東北中部における縄文時代後期後
葉の型式変化—田柄貝塚と里浜
貝塚の出土層準の再確認 小林 圭一

配石遺構からみた米代川上流域に
おける縄文時代中期末～後期中
葉の集落構造の変遷 海藤 元

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報

〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
須崎寛二方 TEL0238-43-5299

◇194 2013.4 B5 10p
江戸時代の置賜地方の生活を絵で
見る 須崎 寛二

第215回学習会から／第216回学習
会と総会
子供や孫に地域(歴史)を語れる人
になりたい! 小原 敏之

第216回学習会に参加して 松田 敏雄

◆福島の民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25
福島県立博物館内 1973年創刊

www.geocities.jp/fukushima-folklore/
◇40 2012.3 A5 90p

大迫徳行会長の逝去を悼む
大迫徳行前会長を悼む 佐々木長生
追想 大迫徳行先生 田母野公彦

追悼の辞 岩谷 浩光
前会長大迫徳行先生を偲んで 今野昭八郎
大迫徳行先生を偲んで 伊藤 清和

大迫徳行先生の思い出 石井 克玖
先生なりのダンディズム 岩崎 真幸

設立40周年にあたって 佐々木長生
『会津農書』にみる農耕儀礼 佐々木長生
村落の実相 加藤 義久

近世史料にみる福島の馬頭観音信
仰 野澤 謙治
「妊産婦記録簿」にみる出産と出
産年齢—サンバ目黒光枝氏の記
録から 鈴木由利子

明治25年、行方・宇多郡の祭礼
—福島県神社庁文書から 岩崎 真幸
東日本大震災の記録—原発事故影
響下のカオスの中で 石井 克玖
研究ノート 現代実話物語 岩谷 浩光

民俗短信
消えた音源一わが下手渡 菅野 拓
『孝行和讃』 岩谷 浩光
『福島の民俗』総目次(創刊号～40号)
会務報告 2011年度(平成23年)
◇41 2013.3 A5 94p
特集・東日本大震災
一体験を通して
つなぐこと・伝えること一いわ
き市復興支援、プロジェクト
傳の一年 山崎 祐子
富岡町における「一揆会」の現
状一原発事故による避難生活
の中で 遠藤 祝穂
原発避難と地域コミュニティ
一富岡町の事例 大山 孝正
街が壊されている一東日本大震
災被災家屋 景観への対応 岩崎 真幸
蛭児社考 加藤 義久
『会津農書附録』にみる陸稲栽培
一陸稲・赤米・焼米をめぐる
佐々木長生
田植え踊りにみる馬の毛の色 野澤 謙治
昭和恐慌下の二本松神社例大祭 喜古 康浩
研究ノート
民俗学とは何なのか
一東北人としての視点から 菅野 拓
全民連総会報告 藤田 直一
書評・書誌紹介
東京芸術大学大学院美術研究科
文化財保存学専攻保存修復建
造物研究室『八槻都々古別神
社・八槻家住宅調査報告書』藤田 直一
南相馬市『原町市史』六近代
資料編IV 岩崎 真幸
渡部康人『会津歌舞伎史一基礎
的調査と研究』 榎 陽介

会務報告 2012年度(平成24年)
関 東
◆長塚節の文学 長塚節研究会
〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
◇19 2013.5 A5 51p 1000円
筑波山の耀と歌人長塚節の悲恋 松野 高久
長塚節「土」への漱石の序文の中
のSについて 桐原 光明
伊勢亀山の節の師とは 橋本 俊明
長塚節の俳句 成井 恵子
長塚節と太宰治の性格比較分類研
究 岩渕 憲弥
山形洋一著『長塚節「土」の世界』
安田 暁男
長塚節の足跡を巡る(北九州・四
国) 河合 宏
長塚節研究会会報より抜粋 長塚
節生誕百年祭記念実行委員会を
直ちに結成しよう! 故 永瀬 純一
◆栃木県立文書館研究紀要
〒320-0027宇都宮市埴田1-1-20
TEL028-623-3450 1997年創刊
www.pref.tochigi.lg.jp/m58/
◇16 2012.3 A4 102p
戦国時代下野宇都宮氏の外交路線
の変遷 荒川 善夫
真崎義伊(宣伊・宣治)に関する一
考察 佐々木倫朗
宇都宮国綱発給文書調査報告 月井 剛
江戸時代における温泉と村経済一
下野国那須郡小口温泉を事例に
平野 哲也
明治21年焼失県公文書の復元につ
いて 丸茂 博
ドロマイト発見期における野州石

灰の動向 山本 訓志
◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
〒320-0865宇都宮市陸町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇87 2013.4 A4 4p
《特集 戊辰戦争を展示する》
「戊辰戦争一慶応四年 下野の戦場
一」を開催して 岸 明
「太田原藩と戊辰戦争」展の開催 前川 辰徳
古文書・古典籍を読む(20) 下野
国府跡出土漆紙文書(売券様文
書) 吉原 啓
新刊紹介
江田郁夫著『下野長沼氏』 月井 剛
◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会
〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊
◇40 2013.5 AB 36p
《明和町・千代田町》
歴史を掘る 渋川市上白井西伊熊
遺跡出土の旧石器 右島 和夫
禅林の食文化 石附 周行
第20回 石川薫記念地域文化賞
功労賞 里見哲夫/研究賞 梁
瀬大輔
発掘情報 問堀1遺跡 宮田 圭祐
図録 ぐんまの文化財
千代田町光恩寺の文化財 長柄 行光
ぐんまの歴史入門講座
第140講 利根川沿岸地域の古代
史二題 前澤 和之
第141講 佐貫氏の伝承と城館 飯森 康広
第142講 日光脇往還と川俣宿 塩谷 正久
第143講 川俣事件 布川 了

第144講 明和町・千代田町の石
造文化財 石造物の見方(29)
秋池 武
古文書解読入門講座(27)一古文書
から歴史を読む 越河の仕置一
北条氏照条書(松田文書) 梁瀬 大輔
地域づくりと文化遺産 後世へ語
り継ぐ地域の歴史一日光脇往還
川俣宿 川崎 祐
ぐんまのくらしと民俗 祐天上人
を巡る民間信仰一重病人の生死
の決着を求める習俗 井田 安雄
ぐんまの地方豪族
渡河点の領主舞木氏 久保田順一
ぐんまの川と生活 邑楽の利根川
澤口 宏
ぐんまの人物誌 亀田鵬斎 吉永 正一
ぐんまの郷土芸能
明和町の郷土芸能 吉永 博彰
ぐんまの地名 明和の川俣 澤口 宏
研究・学習サークル活動紹介 千
代田町ふるさと再発見実行委員
会 相場 文雄
ぐんまの自然と風土 利根川下流
域の野生植物の一面 青木 雅夫
◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒376-0011桐生市相生町2-995-2
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
gunmabunka/web.fc2.com
◇314 2013.4 A5 72p
老農船津次平農法の研究一船津
の「農法原理」・その特徴と性格
田中 修
永禄四年武田氏による甘楽郡侵攻
をめぐる 秋山 正典
動 向
群馬県初代県令・楢取素彦没後

百年記念行事について 手島 仁
 文書館三十年の軌跡と今後の課題 岡田 昭二
 文化財レポート 桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区 鈴木 宏
 新刊紹介
 築瀬大輔著『上野の戦国地侍』（みやま文庫209） 佐藤 孝之
 関口功一著『上毛野の古代農業景観』 久保田順一
 落合延孝著『歴史道遥—地域史料に魅せられて』 岩根 承成
 上毛新聞社発行『戦国史—上州の150年戦争—』 浅倉 直美
 楯取素彦没後百年顕彰会編 吉田松陰投獄後の松下村塾を託された『男爵 楯取素彦の生涯』 今井 英雄
 江田郁夫・築瀬大輔編『北関東の戦国時代』 久保田順一
 追悼 西垣晴次先生 田村 孝
 口絵 ころがしもの玩具—群馬県立歴史博物館蔵品資料(115) 神宮 善彦

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
 www16.plala.or.jp/kuzira226/
 ◇229 2013.5 A5 88p
 《創立40周年記念》
 群馬歴史散歩の40周年を祝う 井田 信夫
 気軽に書いて投稿しよう 機関誌
 「群馬歴史散歩」をいまいち身近に 加藤 鶴男
 群馬歴史散歩の会の編集に携わって 井野 修二
 群馬歴史散歩の会と私 佐藤 孝夫
 松島榮治先生の「近世考古学の幕

開け」を聴こう
 群馬歴史散歩の会と私 大崎 岸子
 『群馬歴史散歩』の一冊に会ったことに感謝 永井 裕之
 群馬歴史散歩の会創立40周年に寄せて 相京 克彦
 上野国分寺を中心にした地域づくりを目指して 松田 誠
 大河の一滴 平田 経子
 三津屋今昔 柳田 米司
 わが町の文化財散歩(2)—前橋市東善町の「硯塚」と「手習條目」 岡田 昭二
 渋川の祇園祭り 小山 宏
 群馬県指定天然記念物「ヒメギフチョウ」—その生態と保護活動について 角田 尚士

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
 〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
 板橋春夫方 1980年創刊
 ◇34 2013.3 A5 109p
 道祖神の継承と地域振興—「道祖神の里めぐり」を例として 鈴木 英恵
 近世後期山村文人の活動と交流—金子照泰の場合 藤井 茂樹
 源氏と多胡郡—多胡館・大蔵館の検討から 和田 健一
 研究ノート
 『日本後紀』弘仁二年二月庚辰条の史的意義—「国」の等級変更について 関口 功一
 近世前期西上州の漆年貢についての一考察—鬼石領を中心に 須藤 聡

書評
 関口功一著『上毛野の古代農業景観』 時枝 務

佐藤孝之著『近世山村地域史の研究』 岡田 昭二

◆祈りの心を訪ねる 石仏通信
 日本石仏協会（発売：青娥書房）
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 TEL042-971-6512 年8000円
 www1.pbc.ne.jp/users/sekibutu/
 ◇16 2013.4 A4 6p
 石仏見学会へのお誘い 大野 邦弘
 石仏談話会ご案内／日本石仏協会主催・石仏見学会ご案内 第98回 西浅草寺町の石仏巡り
 日本石仏協会主催・一泊見学会ご案内「群馬県利根郡みなかみ町の石仏巡り」／25年度日本石仏協会主催・石仏見学会予告—東京の石仏を巡る／日本石仏協会主催・海外石仏研修旅行ご案内 台湾に「望郷の石仏」を訪ねる季刊誌「日本の石仏」13年145号 春 紹介／会員募集中
 石仏スポット紹介 淨真寺 東京都世田谷区奥沢7丁目41
 さいたま市岩槻区岩槻駅周辺の石仏巡りコース紹介
 石仏の基礎知識 韋駄天 (松村)
 支部活動予定などの紹介／出版物紹介

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18
 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
 年3000円 1975年創刊
 ◇67 2013.5 A5 48p
 戦国期日尾城における衆編成 伊藤 拓也
 第二回総選挙における選挙干渉の実態と不信任(排斥)運動の展開

—埼玉県を事例として 内田 満
 地域問題における地方行政機構と有力者層—「江戸川筋御猟場問題」の分析から 中西 啓太
 第55回研究発表会要旨 鎌倉時代末期の板碑の一事例 「築道型」の分布と特性 諸岡 勝

◆日本の石仏
 日本石仏協会（発売：青娥書房）
 〒357-0067埼玉県飯能市小瀬戸29
 TEL042-971-6512 年8000円 1977年創刊
 www3.ocn.ne.jp/~bosatu/sekibutu/sekibutu1.html
 ◇145 2013.3 A5 80p 2100円
 巻頭随想
 石仏のご縁—海をへだてて 坂口 和子
 《特集 大分の中世石造文化を支えた人びと》大分の中世石造文化を支えた人びと—一石工と講衆を中心に（第34回石仏公開講座より） 渡辺 文雄
 石仏論考
 小見川来迎寺の天正銘宝篋印塔 早川 正司
 狭山丘陵周辺の石橋および石橋 供養塔 南川 光一
 誌上講座
 石仏入門(11) 門間 勇
 名号塔の知識(13) 岡村 庄造
 「石」を知る(35) 小松 光衛
 石仏写真と私(35) 杉本 康希

あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
 力士狐 兵庫県篠山市河原町 本経寺 水野 英世
 双体の青面金剛像 埼玉県比企郡鳩山町上泉井 個人墓地 門間 勇
 会員の広場
 十勝の石仏視察報告 森 雅人
 山形県にもあった石造「仁王像」

加藤 和徳
豊後高田市の石造仁王像と磨崖
仏探訪 高野 幸司
桶川・泉福寺の昭和庚申塔と仁
王 石川 博司
新入会員紹介／一泊見学会案内／
原稿募集
はがき通信 新井るい子／亀山幸治
石仏交流
海外石仏研修報告
ベトナム研修旅行記 中森 勝之
「石仏写真展2013」報告 中森 勝之
第96回石仏見学会報告 門前仲町
から深川・清澄の石仏 大久保 修
石仏談話室／第37回総会報告

◆富士山文化研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年4000円
◇38 2013.4 B5 8p
前回の研究会報告
富士山文化遺産関連資料 山梨県
富士山総合学術調査研究報告書
／山梨県富士山総合学術調査研
究報告書—富士山信仰遺跡に関
わる調査報告／富士山を世界文
化遺産に／富士山を知る旅へー
「富士山」ガイドブック
河口湖の湧水
富士山関連文献 筑波山一神と仏
の御座す山／飯綱信仰一羽ばた
く飯綱三郎天狗
見学会のお知らせ 埼玉県行田市
さきたま古墳群等／平成24年度
総会のお知らせ
穴野史生氏 第六世管長ご就任／
『富士山文化研究』刊行準備中

◆昔風と当世風 古々路の会
〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
津山方 TEL048-976-9387 1973年創刊
◇97 2013.4 B5 118p
《岡山県美作市後山地区合同調査特集》
大字後山と日名倉山茅場 坪郷 英彦
岡山県美作市後山地区合同調査を
終えて 金谷 玲子
美作市後山(旧東栗倉村)での聞き
書き 森岡 弘典
納戸神を祀る村 森隆男／山下隼人
岡山県美作市後山地域の倉から 丸山 久子
山の暮らし、民具オイコ(背いこ)
と牛の民俗 佐志原圭子
東栗倉村後山地区の祭り 北河 直子
東栗倉村後山地区の暮らしと信仰
白井 正子
岡山県・後山紀行一昭和十～三十
年代の性と産育 むらき数子
聞き書きノートから
人の一生にまつわる儀礼 西尾 嘉美
美作市後山地区の婚姻 丸山 志保
食卓からみる後山の暮らし 茶谷まりえ
貫く、文化としての女人禁制 上西美三加
後山弁 マーク・アナドレ・セベルジ
美作市後山の産業と茅場の利用 島田 宝明
後山の暮らし 片江 香保
旧東栗倉村後山地域における通過
儀礼から見る人々のつながり 倉岡麻里子
東栗倉村における風呂を中心とし
た水回りの文化 細田 寛人
後山地区の民俗調査を終えて 村山 翠
中国山地の緩斜面に開けた集落と
建築儀礼 津山 正幹
美作市後山地区見聞抄 五十嵐 稔
早瀬哲恒先生追悼
早瀬先生を偲ぶ 下境 芳典
民家と集落を愛した早瀬哲恒先

生を悼む 津山 正幹
ニュースから(1)～(10)
明治の小学校(6)教科書に絡む三
大事件—その1 四ツ目屋事件 古川 義文
合同調査の報告とお知らせ 東京
都西多摩郡檜原村北秋川溪谷

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方 TEL043-487-1033
年2000円 2012年創刊
◇1 2012.9 A4 8p
「佐倉の地名」の創刊にあたって 野村 忠男
鷲神社周辺の話 滝口 昭二
全国地名研究者発表大会
特集「災害と地名」 伊藤 清
寺崎地区を歩く
平成24年4月19日(木) 松平喜美代
地名はおもしろい 池田 弘之
佐倉地名研究会からのお知らせ
新会長に野村忠男氏(総会報告)
／会合の予定／会員募集
佐倉地名研究会志津部会 報告資
料 志津地区北部の石碑移動な
どのお知らせ 小坂 義弘
地名研究会短信 田中氏が出羽三
山信仰研究論文を発表／地名を
訪ねる会 10月 先崎を訪ねる、
11月 江原新田を歩く
◇2 2012.12 A4 6p
地名に学ぶ「鏑木町」と「新町」
のことなど 野村 忠男
会員の皆様への手紙 呉林 肇
佐倉の地名・歴史・野草展望備忘
録「地名を訪ねる」 小坂 義弘
和田啓蔵墓誌について 滝口 昭二
第2頁関連記事
呉林肇さんのプロフィール 山部 紘

地名研究会短信 野村さんが防人
について講演／地名を訪ねる会
1月 内郷を歩く
◇3 2013.3 A4 8p
地名に学ぶ(2) 佐倉城の成り立
ちと「根古屋」地名 野村 忠男
〈紀行文特集 房総の大地を踏みしめて
安房、先崎、江原新田、内郷〉
特集 房総紀行・第一章 里見氏
の郷・安房国を訪ねて
平成24年12月4日 伊藤 清
研修バス旅行 感想文 立崎定幸／古山哲子
特集 房総紀行・第二章 先崎地
区を訪ねて 平成24年10月26日
大月 勇次
特集 房総紀行・第三章 八丁の
坂界限と江原新田を訪ねる
平成24年11月9日 伊藤 清
特集 房総紀行・第四章 内郷地
区を歩く 平成25年1月17日 編集部
地名研究会短信 「多輪免喜」第6
号 近く出版／地名を訪ねる会
4月 福老の里・野田を訪ねる／
佐倉地名研究会総会／5月の地
名を訪ねる会

◆袖ヶ浦市史研究 袖ヶ浦市郷土博物館
〒299-0255千葉県袖ヶ浦市下新田1133
TEL0438-63-0811 1993年創刊
◇16 2013.1 A4 104p
『袖ヶ浦市史研究』第16号の発刊
にあたって 山田 常雄
巻頭図版
市史編さん成果還元事業講演会
木更津海軍航空隊基地・第二海
軍航空廠と袖ヶ浦
第一章 木更津海軍航空隊基地・

第二海軍航空廠の沿革
能城秀喜／高木澄子
第二章 座談会「木更津海軍航空
隊基地・第二海軍航空廠と袖ヶ
浦」 藤城量郎／大久保進／長島義明
研究 奈良輪漁業協同組合史料よ
り見た報国機奈良輪漁業号の献
納—その経緯と機種等の様々な
相違について 高木 澄子
調査報告 旧富岡村の動植物につ
いて—大正三年の現在 川名 興

◆成田市史研究 成田市教育委員会
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市
立図書館 TEL0476-27-2000 1972年創刊
◇37 2013.3 A5 137p
巻頭カラー 口絵 吉田家神道裁
許状／吉田家神道啓状／吉田家
家老連署奉書(折紙)／吉田家公
文所奉書(折紙)
近世の地方神社・神主と吉田神道
—下総国香取郡、大須賀大明神
を中心に 木村 修
下総高岡藩井上氏の分知とその心
得 鏑木 行廣
聞き取り 長谷川興成さんに聞く
子どもの目が見た戦中戦後の成
田町 話し手 長谷川興成
／聞き手 矢嶋毅之
成田ニュータウンの遺跡(2) 成
田国際高校は平安時代の大集落
—中台遺跡・囲護台遺跡 高木 博彦
桜ヶ丘ゴルフ場(Cherry-hill)の記
憶(1) 新島 新吾
『成田の地名と歴史—大字別地域
の事典—』編集余話2
淀藩大森陣屋に対する村々の諸
入用負担 鏑木 行廣

明治初年の廃寺について 神尾 武則
成田山にあった巡査派出所 矢嶋 毅之
市史資料『富沢庸祐写真アルバ
ム』について 島田 七夫
成田市史年表稿
2010(平成22)年 矢嶋 毅之
成田市関係新聞記事目録
2010(平成22)年
記録 平成24年1月～24年12月
『成田市史研究』目次
第21号～36号

◆房総石造文化財研究会会報
〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3
石田年子方 TEL04-7196-3375
年3000円 1980年創刊
◇117 2013.4 B5 8p
定期総会のお知らせ／新年懇談会
のご報告／石仏見学会のご案内
香取市・大戸地区の板碑／石仏
勉強会のご案内 テーマ 大戸
地区の下総板碑／香取市・旧山
田町調査について
木更津周辺の石仏見学会に参加し
て 入谷 雄二
天照神社の二十一仏種子板碑につ
いて 小西 則子
石仏探訪(8) 水陸塔と蝗神供養
塔—鴨川市・石造物百選展によ
せて 石田 年子

◆赤米ニュース 東京赤米研究会
〒186-0005東京都国立市西3-7-29 アゼリ
ア国立II101 長沢方 TEL042-577-6855
◇193 2013.4 B5 8p
2013年版赤米栽培マニュアル
4月の赤米作り
お知らせ 「あかごめがっこう」

の閉校式／おたより 閉校式の
ご案内(芦田哲)
平成24年岡山総社国司神社の赤米
栽培記(上) 菅野 郁雄
赤米雑話(149)
83 福井県の赤米・つづき 長沢 利明
◇194 2013.5 B5 8p
2013年版赤米栽培マニュアル
5月の赤米作り
お知らせ 種子島の赤米の記事／
おたより 種子島再訪(長沢利
明)
平成24年岡山総社国司神社の赤米
栽培記(下) 菅野 郁雄
赤米雑話(150)
83 福井県の赤米・つづき 長沢 利明

◆足立区立郷土博物館だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
TEL03-3620-9393 1996年創刊
www.city.adachi.tokyo.jp/003/d10100156.html
◇64 2013.4 A4 4p
平成25年度の展示のお知らせ 特
別展 大千住展—町の繁栄と祝
祭 11月6日～平成26年1月26日
／大千住展プレ展示 山車の装
飾 9月29日～10月20日)
企画展 昭和のはじめの物語—戦
前戦中の映像とくらし 7月23
日～9月16日／新収蔵資料展 5
月21日～6月30日
郷土芸能の催し 郷土芸能鑑賞
会、郷土芸能大会／春季区民教
養講座「足立の戦国武士宮城氏
一族と江戸六阿弥陀伝説」講
師：加増啓二氏／刊行物のお知
らせ／博物館の映画会
収蔵浮世絵展 タテモノとマチナ

ミ—都市と建築の画像を読み解
く 平成26年2月25日～5月6日
／博物館の舞台展示
◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇542 2013.4 A4 4p
1600年前の伊興遺跡(2)—古式須
恵器と祭祀遺物から考える古墳
時代の伊興遺跡 田中千代吉
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
い出(5) 鹿浜の椿分教場への
編入(3) 小川誠一郎
戦前戦後の小右衛門町の思い出(5)
金井 富江
全国的にも珍しいハスの手鋤 郷土博物館
◇543 2013.5 A4 4p
無尽の道具—新収蔵資料展から 荻原ちとせ
縁故疎開ですごした北鹿浜町の想
い出(6) 鹿浜地区の米空軍に
よる空襲(1) 小川誠一郎
戦前戦後の小右衛門町の思い出(6)
修学旅行の決定／遠足のうれし
さ 金井 富江
新収蔵資料展
5月21日(火)から6月30日(日)
◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
◇301 2013.4 A4 8p
区民教養講座「足立の戦国武士と
宮城氏一族と江戸六阿弥陀伝
説」—伝説の登場人物とその原
像を求めて／五月探訪案内 明
治神宮

合衆国首府「ワシントンの桜」(7)
 フェアチャイルド博士の桜培養
 の成功(2)

足立区の文化財 有形文化財(古
 文書) 鶴飼家文書 7点、羽田
 家文書 3点

メ縄飾り・紙切れ騒動 赤田 直繁
 武蔵一の宮参道を歩く

3月探訪から 堀切駅から汐入の
 新しい街など… 伊藤 博

先人のみていた郷土史 足立史談
 会へ繋ぐ「葛飾史談」10号
 昭和26年

千住大橋と仙台侯 加瀬 順一
 千住大橋と仙台侯(2) 加瀬 順一

同じ「葛飾史談」11号に「葛飾を
 詠める短歌」 田辺弥太郎

◇302 2013.5 A4 8p
 第22期史談大学実施要綱／6月探
 訪案内 江戸城・城門と周辺／
 足立区町会連合会の講演会

合衆国首府「ワシントンの桜」(8)
 東京都建設局公園緑地部編著
 1960年刊 フェアチャイルド博
 士の桜培養の成功(3)／桜寄贈
 を軌道にのせたヒロイン(1)

足立区の文化財 有形文化財(古
 文書) 星野家文書 1点、明王
 院文書、吉岡家文書 3点、高
 尾家文書 1点、葉本家文書 1
 点

花畑大鷲神社界隈を歩く

足立史談会へ繋ぐ「葛飾史談」14
 号 昭和28年 郷土史より見た
 足立の治水 田邊彌太郎

史談会総会報告 4月21日

福沢諭吉家出入りの千住の棟梁
 金杉大五郎の建築物 明治村に

保存展示 北里研究所の最初の
 建物を造った人 相川・小島・矢沢

◆板橋史談 板橋史談会
 〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
 TEL03-5398-2682 1966年創刊

◇276 2013.5 A5 17p
 表紙写真解説 夏越しの大祓い 井上 富夫
 写真ニュース 備射祭(中井御霊
 神社・葛谷御霊神社) 三原寿太郎
 商店会が守る上中庚申塔 大澤 鷹邇
 ひろば

井伊大老の暗殺 鈴木 昭大
 板橋区を始め二十三区の区広報
 誌に思う 猪瀬 尚志

史談会のあゆみ(2月・3月)／短報
 受贈図書目録(3月・4月) 事務局

◆縁集いの広場 縁フォーラム
 〒180-0023東京都武蔵野市境南町2-12-2-
 603 武蔵野エイトマンション
 倉石美都方 2012年創刊

◇3 2013.5 A4 42p
 刊行にあたって
 《アジア特集》
 選挙を動かすキモチー台湾選挙に
 おける感状的な要素について 蔡 亦竹
 現代韓国の酒事情と酒の飲みよう
 の変遷 中里 亮平
 韓国における足を洗うということ
 倉石 美都

秩序にこだわる韓国の結婚観一ド
 ラマで読む韓国の家族・親族観
 鳥竹軒 蓮花

韓国三陟市における男根観光
 一海神堂公園を事例に 安藤 有希
 研究ノート

邦楽囃子方A流の名取式 高久 舞

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
 〒169-0075東京都新宿区高田馬場2-10-12
 加藤恒彦方

◇391 2013.5 B5 27p
 一味違った奥武蔵中世の城跡歩き

加藤 恒彦
 小泉 重光
 町田 尚夫

顔振峠と義経伝説
 飯能の地元行幸体験レポート
 奥武蔵・秩父の獅子舞(46)

一越畑八幡神社の舞 関口 洋介
 慈光寺麓18社巡拝(1) 酒井 昌樹
 山行三千回を祝す 染谷 鷹治
 思い出の風景(青葉山) 奥村 雅

安全対策部コラム 第2回
 地図読み(2) 坂田 康明

山行報告

奥武蔵中世の城跡を歩く(28)

秩父編(23) 安戸城 飯塚 孝雄
 お杓母子山・岩殿山・物見山 藤本 一美
 取手宿ひなまつりと取手キリン

ビール見学 齊藤 慶広
 逗子の二子山 成川 茂雄
 御前岩(山)・神楽山・菊花山 加藤 恒彦

奥武蔵中世の城跡を歩く(29)

秩父編(24) 鉢形城周辺 飯塚 孝雄
 読図山行

貝沢林道から小孫山ノ頭 村木 悦子
 加治丘陵再発見(4) 藤本 一美

新入会員歓迎花見山行 高山不
 動尊から関八州見晴台・顔振
 峠 加藤 恒彦
 慈光寺麓18社巡拝(1) 酒井 昌樹
 越生龍谷入のヤマザクラ 成川 茂雄

◆北区史を考える会会報
 〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇108 2013.5 B5 8p

第362回月例研究会 2月24日(日)
 再び滝野川反射炉について 馬場 永子

第364回月例研究会 4月14日(日)
 石神井川を源流より歩いて 齋藤 要

第363回史跡見学会 3月29日(金)
 著名人の墓を巡る一染井霊園・
 慈眼寺・本妙寺 林 健一

戦前の『姥が橋交差点』の写真を
 探していますー《姥が橋》の写
 真を所蔵している方は、ぜひご
 せ協力下さい 小杉善一郎
 訃報 高崎直道氏

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
 〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
 TEL03-3355-4188

◇190 2013.5 B4 8p
 閻魔さまのもと笑い声が響く 京
 都府京都市上京区千本通蘆山寺
 上ル閻魔前町 千本えんま堂狂
 言 久保田裕道

春季大会のテーマは「暮らしの花」
 7月20日春季大会 フラワーデ
 ザインの歩みと今のかたち／関
 西支部 秋季学術大会／まもな
 く地方大会開催 住吉大社の御
 田植神事参観

これからの催しもの案内 儀礼文
 化講座／儀礼文化セミナー／儀
 礼文化研究会
 レポート

儀礼文化講座 第8回 3月10日
 (日) 儀礼文化史「春から正
 月へ一年中行事の萌芽」
 講師：倉林正次 倉林 正次
 儀礼文化セミナー 第10回 3
 月1日(金) 武道「刀剣博物
 館を訪ねる」 久保田裕道

日本列島 北から南まで 田植神
 事あれこれ 神さまを招く田植
 えの儀礼 渡辺良正／久保田裕道
 六・七月 月ごとの歳事 渡辺良
 正の祭りスケッチ 秋田県 小
 滝のチョウクライロ舞／牛乗り
 神事と蜘蛛舞 渡辺 良正
 書 棚
 岡田莊司・笹生衛編『事典 神
 社の歴史と祭り』 久保田裕道
 所功監修『日本はどのようにし
 てできたの? 「古事記」が
 よみわかる事典 あらすじと
 解説で読む建國物語』 後藤 正明
 明治神宮華道五流献華式
 本年は小原流家元が奉納 石田 武久
 出雲と伊勢のご遷宮 出雲大社
 平成の大遷宮／伊勢神宮 式年
 遷宮 後藤 正明
 暮らしひとこと 名残の桜 小川 可楽
 弔事 平井直房氏

◆記録と史料

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
 〒730-0052広島市中区千田町3-7-47
 広島県立文書館 TEL082-245-8444
 1990年創刊 www.jsai.jp
 ◇23 2013.3 B5 102p 1200円
 特集 自治体職員からみた資料レ
 スキュー
 特集にあたって 広報・広聴委員会
 陸前高田市における被災公文書
 救出の受け入れについて 高橋 良明
 東日本大震災・村田町における
 宮城歴史資料保全ネットワー
 クの受け入れと文化財レスキ
 ュー 石黒伸一朗
 福島県国見町における被災文化

財の取り組みについて 大栗 行貴
 東日本大震災に遭った鹿嶋市龍
 蔵院の文化財—文化財レスキ
 ューの活動に救われて 糸川 崇
 佐倉市における被災資料への取
 り組みについて—地元歴史研
 究学会との協働 土佐 博文
 国文学研究資料館の資料レスキ
 ューに参加して 金子 聡子
 研究 レファレンスから、つなが
 る—尼崎市立地域研究史料館に
 おけるレファレンス・サービス
 発信の取り組み 久保庭 萌
 アーキビストの眼
 公文書機能普及セミナー in 佐賀
 参加記 申間聖剛／佐藤紘一
 史料保存ネットワークとしての
 史料協を考える—山本幸俊氏
 の活動と遺産を学ぶ 長谷川 伸
 世界の窓
 第17回 I C A (国際文書館評議
 会)世界会議プリズベン大会
 参加報告 佐々木和子
 I C A (国際文書館評議会)世界
 会議プリズベン大会 地方文
 書館部会(S L M T)参加記 白井 哲哉
 アーカイブズネットワーク
 学習院アーカイブズの設立と課
 題 桑尾光太郎
 福岡共同公文書館開館の意義に
 ついて 吉田 徹也
 「歴史資料保全ネットワーク・徳
 島」の発足に寄せて 松下 師一
 ふるさと府中歴史館の概要と公
 文書館機能 庄司 明由
 京都大学研究資源アーカイブの
 活動 五島 敏芳
 書評と紹介

公益財団法人渋沢栄一記念財団
 実業史研究情報センター編
 『世界のビジネス・アーカイ
 ブズ 企業価値の源泉』 水口 政次
 奥村弘著『大震災と歴史資料保
 存—阪神・淡路大震災から東
 日本大震災へ—』 多和田雅保
 吉越昭久・片平博文編『京都の
 歴史災害』 栗生 春実
 チャールズ・O・ロソッティ著
 『巨大政府機関の変貌 初の
 民間出身長官が挑んだアメリ
 カ税務行政改革』 藤吉 圭二
 資料ふぁいる 「公文書館機能の
 自己点検・評価指標」調査結果
 会員刊行物情報／全史料協この一
 年

◆交通史研究

交通史学会(発売:吉川弘文館)
 〒365-0023埼玉県鴻巣市笠原1435-1
 波田野富信気付 1976年創刊
 www.kotsushi.org
 ◇80 2013.4 A5 129p
 名誉会員の記念講演論文掲載に当
 たって 丸山 雍成
 記念講演論文 韓国交通史研究の
 現状と展望—三国~朝鮮時代の
 陸上道路交通を中心に(1) 趙 炳魯
 齊明天皇の筑紫西下の意義と行程
 に関する一考察—熱田津の船出
 を中心に 清原 倫子
 戦国期南九州における造船と島津
 氏一日向国を中心として 中村 知裕
 近世東海道三島宿の人馬継立負担
 の実態について—一箱根八里の過
 重負担を中心に 厚地 淳司
 研究ノート 参勤交代における美

濃路利用—美濃路起宿の事例か
 ら 宮川 充史
 書 評
 湯沢威・小池滋・田中俊宏・松
 永和生・小野清之著『近代ヨ
 ーロッパの探求⑭ 鉄道』 富田 新
 宇佐美ミサ子著『宿駅制度と女
 性差別』 岩橋 清美
 例会報告要旨 工部省政策過程に
 おける「現場の論理」の登場—
 明治七、八年鉄道寮を中心に 柏原 宏紀
 巡見・シンポジウム報告
 2012年度シンポジウム報告
 シンポジウム「淀川水系とそ
 の周辺地域」 原 淳一郎
 近代の淀川について—京都府
 下を中心にして 高久嶺之介
 巡見報告 巡見参加記 重松 正道
 新刊紹介
 山本隆志著『東国における武士
 勢力の成立と展開』 佐藤 貴浩
 サイモン・P・ヴィル著 梶本
 元信／野上秀雄訳『ヨーロッ
 パ交通史 1750-1918年』 山根 伸洋
 展覧会情報／会員彙報

◆史学研究集録

国學院大學大学院史学専攻大学院会
 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
 TEL03-5466-0142
 ◇38 2013.3 A5 72p
 学生のころ 山崎 雅稔
 ヤコボ・ダ・ポントルモの“物語
 画”—空間表現から時間経過を
 読み解く 児矢野あゆみ
 活動状況(2012年4月~2013年3月)
 /既刊目録(1号~37号)

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文学部史学研究室内
TEL03-3329-1151

◇88 2013.3 A5 66p

幸徳秋水と井上甚太郎—綿花輸入

税と社会問題をめぐって 坂本 守央
田中義一内閣期の前田米蔵 古川 隆久
外交国策転換期における言論界の
対ソ連論調—1940年5月から9月
までの日ソ提携問題を中心に 多比羅 充
書評

松本健一『昭和史を陰で動かし
た男 忘れられたアジテータ
ー・五百木瓢亭』 石川 徳幸
坂口太助『太平洋戦争期の海上
交通保護問題の研究—日本海
軍の対応を中心に』 佐藤 宏治

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 1993年創刊

◇81 2013.4 A4 6p

亀山城多聞櫓が旧状復元

平成25年度 総会・大会のお知らせ
大会テーマ「安土城 天主
建築と最近の調査成果から」

中世城館の佇まいを残す

彦部家館の遺構 西ヶ谷恭弘
日本城郭史学会 催物・見学会・
セミナー案内

日本城郭史学会・秋の探訪旅行会
熊野三山と南紀の城めぐり

最近の注目される城郭関係図書か
ら 野中和夫著『江戸・東京の
大地震』、松本四郎著『城下町』、
宮坂武男著『信濃の山城と館』3、
山室恭子著『江戸の小判ゲーム』

最近の城郭ニュースから 小田原
城御用米曲輪の発掘調査から/
池の城より大井戸検出
各地の城郭研究会活動から/日本
城郭史学会活動から

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20
TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇36 2013.3 A5 108p

県人会活動における出身地と原居

住地一同郷者集団の新たな分析
的枠組みを視野に入れて 山口 拓
「現実」を生きる「夢追い」フリ
ーター 生井 達也

男女共学と男女平等の不一致の研
究—埼玉県男女共学・別学共存
運動を事例に 佐藤 恵里

民俗学の立場から見る第15回ドイ

ツ語圏日本研究者会議
クリスチャン・ゲーラット
二つの現実—リアリティとアクチ
ュアリティ— 木下 聖三

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/

◇239 2013.5 A4 12p 400円

《杉並郷土史会 創立40年記念号》

中野宝仙寺と阿佐谷 菅野 郁雄
杉並の校歌に詠われた富士山 小島 智
東京府志料にみる杉並 新村 康敏

かみつけの里博物館・沼田城址
日帰りバス見学会 永井 公子
私の本棚から(46) 「ある警察官
の昭和世相史」原田弘著 草思

社 鈴木 健

区文化財の追加指定の紹介 指定
文化財(建造物) 杉並能楽堂舞
台/指定文化財(彫刻) 明和八
年銘石造狛犬 原田 弘

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008 1987年創刊
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/

◇53 2013.4 A4 20p

はじめに 隅田川宣言(1985年11
月10日)に向けて 沼尻 重男
第26回隅田川市民サミット(船上
サミット:舟遊と懇親会) 鳥
正之前会長の業績を偲ぶ交流・
懇親会—隅田川へのシラウオの
放流と東京湾の更なる整備に向
けて 篠田 裕

「シラウオ」基礎知識
隅田川河口にて シラウオの復活
願い、東京湾で放流実験 糸井 守
東京湾の新しい河川整備計画につ
いて

追悼
鳥先生との一期一会 辰巳 和正
鳥先生からのハガキ
会報「すみだ川」編集部

隅田川大学公開講座(文化実践講
座3)「池波正太郎ゆかりの地を
歩いて、俳句を創ろう!」 岡部 恒雄
向島百花園ものがたり—隅田川と
文人・町人たちが創った庶民庭
園 猪刈 達夫

隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)22 隅田川を知る
—隅田川の起点と荒川の探求
平成24年10月27日(土) 片田 宏一
佐藤武レポート

ヘドロ除去が最優先の対策 佐藤 武
隅田川大学公開講座 フィールド
ワーク(FW)23 「タイムド
ム明石」見学と明石町散策 平
成25年2月16日(土) 西原 文雄

フィールドワークに参加して
一佃島の白魚 渡辺 早苗
忍城址「のぼうの城」バスハイク
主催:水辺・緑地ウォーク

平成25年2月17日(土) 末永公一郎
交流コーナー 第9回四万十町展
場所:隅田川公園リバーサイド

ギャラリー 戸田 彩
会員便り

鳴く虫の四季 竹川 光一
白魚の話 馬場 永子
河川讃頌 平成24年12月22日 篠田 裕

活動記録
2012年度(平成24年)下期

◆全日本郷土芸能協会会報

〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク
ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp

◇71 2013.4 A4 24p

谷汲踊 岐阜県揖斐郡揖斐川町
平成25年度定時社員総会のお知らせ
せ/全国民俗芸能保存振興市町
村連盟 第37回定期総会は愛知

県東栄町で開催決定
出雲大社「平成の大遷宮」奉祝行事
東日本大震災後の全郷芸と会員の
動き

東日本大震災・郷土芸能復興支
援のプロジェクト 助成第3
次募集

鎮魂の舞、中断すまじ 浦浜念
仏剣舞保存会/金津流浦浜獅

子踊保存会 古水 力
被災無形民俗文化財関連の催し
など
東日本大震災・郷土芸能復興支援
のプロジェクト事業 民俗芸能
で広がる子どもの世界 第15回
全国こども民俗芸能大会 第1
回伝統文化継承フォーラム
寄稿 第2回埼玉県民俗芸能公開
事業「未来に伝えよう、ふるさ
との芸能」を観て 高橋 裕一
一般財団法人地域伝統芸能活用セ
ンター 平成25年度の地域伝統
芸能表彰団体決定/国宝「大神
社展」/日本の祭り文化事典
報告 今回で12回目を迎えた、か
ながわ伝統芸能祭 地芝居2013
2013年3月3日(日) 神奈川青少
年センターホールで開催 (芦野)
地芝居一会員紹介 相模人形芝居
下中座 神奈川県 岸忠義代表
/全国地芝居連絡協議会加盟案
内/全国の地芝居と農村舞台調
査と活性化事業 完了
地芝居探訪(45) ぐんま「伝統歌
舞伎公演」/信州農村歌舞伎祭
/東濃歌舞伎中津川/小鹿野歌
舞伎(十六様歌舞伎公演)
地芝居公演情報
4月下旬~5月中旬
地芝居見聞(10) 内船歌舞伎一
歌舞伎の祭典/塩沢子ども歌舞
伎 北河 直子
地芝居あれこれ(10) アメリカか
ら田峯歌舞伎への贈りもの 蒲池 卓巳
民俗楽器(47) 中国、蘇州 山本 宏子
空白の沖縄芸能史(1)
嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄

春~夏の芸能イベント情報2013/
祭暦 2013 4月下旬~2013 7
月中旬
寄稿 石山社中、回天す 武州里
神楽石山裕雅社中(埼玉県) 石山 裕雅
会員紹介 岡崎五万石保存会
愛知県 相川恵彦代表
マレの会「韓国芸能交流の旅ーマ
レの会、韓国・高敞(コチャン)
農楽と出会う!」
◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
◇250 2013.4 A4 2p 100円
東都歳時記が載せる小商人
◇251 2013.5 A4 2p 100円
是齋と定齋
神田祭/際物師と奸賢
江戸東京博物館友の会(えど友)認
定サークル「日本の大道芸伝
承会」発足
◆多摩地域史研究会会報
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1
梶原方 1991年創刊
tamatiken.web.fc2.com
◇106 2013.5 B5 8p
第81回例会報告 ハンセン病資料
館見学会参加記 外池 広
東京市の市域拡張と北多摩郡砧村
荒垣 恒明
平成24年度会計報告
書評 鈴木芳行著 歴史文化ライ
ブラリー358『首都防空網と〈空
都〉多摩』 梶原 勝
地域史情報室 調布市郷土博物館

収蔵品展「地図でたどる調布・
小さな旅」
◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
〒186-8686東京都国立市中1-9-52
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
www.tamashin.or.jp
◇150 2013.5 A5 114p
《特集 八州廻りとアウトロー》
八州廻りの誕生と村々 桜井 昭男
武装する集団と八州廻り 牛米 努
嘉永水滸伝の立役者武州石原村幸
次郎一関東取締出役体制の破綻
高橋 敏
史料にみるアウトローたち
一小金井小次郎、藤屋万吉 花木 知子
博徒「小川の幸蔵」の生涯 高尾 善希
洋風建築への誘い(39) 晩秋、町
田の里山にて 白洲次郎・正子
邸 伊藤 龍也
建物随想記(34)
モダンな古民家の史跡 酒井 哲
古文書は語る(37) 武蔵野台地の
初期村落関係(下)一小川家文書
「新田開発に伴う除地の理由書」
馬場 憲一
多摩の食文化誌(11)
「雑穀」って、なに? 増田 昭子
多摩のみほとけ(13) 国分寺市武
蔵国分寺 木造薬師如来坐像 齋藤 経生
本の紹介
府中市郷土の森博物館編『江戸
時代の多摩を掘る』 長佐古真也
清水徹男著『高尾山野鳥観察史
75年の記録と思い出』、揺籃
社編『とっておき高尾山』 米澤 邦昌
翠川好道著『軍道紙一東京都指
定無形文化財一』 小澤 洋三

まちの情報ハブ・図書館(13)
調布市立図書館 武藤加奈子
江江市立図書館
相川容子/葛西美香/伊藤菜摘
情報ページ 多摩の博物館日より
◆東京産業考古学会 NEWSLETTER
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方/〒352-0011埼玉県新座市野火
止4-8-43 袖須絨一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com
◇100 2013.5 A4 6p
東京駅小史 写真:奥原一三
関連団体情報 産業考古学会 電
気と機械分科会
新刊紹介 『鉄道技術者 白井昭
一パノラマカーから大井川鐵道
S L 保存へ』2012年1月 高瀬
文人著 多田 統一
報告 講演会「歴史的建築の修復
と保存ー記憶の保存について」平井 東幸
報告 見学会「東京農工大学科学
博物館」 長野 恭彦
報告 講演会「東京駅と高架鉄道
ができるまで」 長野 恭彦
2012年度第9回理事会の議事概要
/2013年度第1回理事会の議事
概要/第2回理事会の議事概要
博物館シリーズ(12)
トーマス転炉 小野田良智
エコプロダクツ2012開かれる 多田 統一
新刊紹介 『現代日本の地域研究』
2011年10月 服部銈二郎編 多田 統一
茨城県牛久市の赤煉瓦建築物(4)
「シャトーカミヤ(牛久シャト
ー)本館」(4) 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊

◇345 2013.5 A4 4p

東京市養育院と彼のひとびと(後
篇5)一児玉花外・島崎こま子・
長谷川利行・物集高量 日向康三郎
練馬の城を往く(7) 愛宕山城(練
馬区上石神井三丁目)

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264
年2500円 1987年創刊

◇103 2013.5 B5 6p

第100回例会 平成24・4・29
「五十嵐」という地名について 村崎 恭子
第103回例会 平成25・2・3
練馬の古道一鷹場への道 石川 敦子
日本の地名を縄文語で解釈する
第98回例会 平成23/11/13 井上 政行

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文
化係
〒176-0012東京都練馬区豊玉北6-12-1
TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇88 2013.4 A4 6p

平成24年度新規の指定・登録文化
財 小竹遺跡出土の大珠(指定
有形文化財)／正親町天皇繪旨
非公開(登録有形文化財)／明叟
宗普道号頌 非公開(登録有形
文化財)／明叟宗普書状 非公
開(登録有形文化財)／妙福寺の
駕籠 非公開(登録有形文化財)
／石神井火車站之碑(登録有形

文化財)／本覚寺の版木 非公
開(登録有形民俗文化財)
練馬区指定文化財一覧／練馬区登
録文化財一覧

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org

◇38 2013.3 B5 75p

研究ノート 京都・東九条マダン
における韓国伝統音楽—在日コ
リアンの祭りが創造する伝統芸
能の新たな意味 磯田三津子
調査報告 学校における人形浄瑠
璃の教育の全国的状況 勝岡ゆかり
実践報告 地域文化としての「地
車囃子」とその教育的価値—
「お囃子づくり」の授業実践よ
り 山本 真弓
〈第26回大会報告「都市における民俗芸能の
新たな展開」〉(2012 東京)
基調講演「都市における民俗芸
能の新たな展開」 星野 紘
シンポジウム「都市における民俗
芸能の新たな展開」

入江宣子／広木房枝／尾林克時
／鷺巣功／藤井知昭／星野紘

研究発表要旨

最先端の音楽音響研究における
民謡研究の位置付け 河瀬 彰宏
石垣島における台湾移民の音楽
行動—琉球華僑総会八重山分
会婦人部の活動を通して 岡部 芳広
富山県新湊の曳山囃子の旋律型
高添貴美子
旋律分析の方法論(4)—近代の
民謡として筑豊炭鉱内歌はど

う歌われたか 上西 律子
打ちはやしの音楽—山梨県国中
地域と岐阜県南西地域を例に
小野寺節子

秋田県の「3匹獅子舞」につい
て—県北部と中央部の比較 桂 博章

〈第8回民俗音楽研究会報告
—2012 福島県郡山市〉
民俗音楽伝承力の創造—民謡の力
伊野 義博

第1日(8月26日)

基調提案 盆踊唄『会津磐梯山』
の変遷とナンバ 懸田 弘訓
研究発表

新潟県民謡「佐渡おけさ」を
活かした学校教育の方策 天澤 明里
ラオスの歌「ラム(lam)」
—その民謡的側面と底力 黒田 清子

祝い歌の役割 小野寺節子
全体討論

第2日(8月27日)

基調提案 福島県内の主なナン
バの盆踊 懸田 弘訓
研究発表

秋田民謡の流派の形成につい
て—三味線の演奏様式(浅
野流と睦美流)の成立を中
心に 桂 博章

民俗音楽伝承形態の多様性—
みやぎ龍神太鼓の事例をめ
ぐって 松本 晴子

全体討論とまとめ
平成24(2012)年度 日本民俗音楽
学会活動報告

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141

年6000円 1985年創刊
◇54 2013.3 A5 75+37p

群馬県内の「御嶽流・豊穂講神楽」
—渋川・前橋両市周辺に分布す
る神楽の出自を考える 森林 憲史

東照宮祭の成立
—和歌山東照宮祭を中心に 山路 興造
研究ノート 佐原囃子の構造

—「さんざり」を中心に 坂本 行広
書評 菊地和博著『シン踊り—鎮
魂供養の民俗—』 中村 茂子

民俗芸能研究文献目録 平成22年
西嶋 一泰

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011東京都渋谷区東4-10-28
国學院大學文学部 花部英雄研究室
TEL03-5466-0224 1971年創刊

mukaden.tiyogami.com

◇32 2013.4 A5 106p

水の精霊としての蛇
—「蛇淵型」伝承をめぐって 中村とも子
グリム研究家田中梅吉と朝鮮民間
伝承調査—朝鮮総督府編『朝鮮

童話集』及び『児童絵本 小児
画篇』を中心に 金 広 植

「とろかし草」(「そば清」)と「蛇
の分食」をめぐって—奇談とし
ての昔話 伊藤 龍平

難題モチーフの研究
—「異類婚姻譚」を中心に 瀬戸口真規
神奈川県浦賀の浦島氏の浦島伝承
山田 栄克

伝承の踏襲という形の創作考
—妖怪を中心に 坪井 亜弥
鯖大師像の由来と形体考 関根 綾子

資料 飛鳥の世間話
清野知子／清野尚志／花部英雄

◆無形文化遺産研究報告 東京文化財研究所

〒110-8713東京都台東区上野公園13-43
東京文化財研究所無形文化遺産部
TEL03-3823-2241 2007年創刊

◇7 2013.3 A4 160p
鷺流狂言の小舞謡—無形文化遺産
部所蔵「山口鷺流小舞謡」の記
録をめぐる 高桑いづみ
「栄二譜」試論 星野 厚子

ボルネオ島サラワク州における削
りかけ状木製具について—日本
列島の削りかけ習俗との比較か
ら 今石みぎわ

資料紹介
梅村豊撮影歌舞伎写真(4) 原田 真澄
国立音楽大学附属図書館寄贈 竹
内道敬旧蔵音盤目録(5) 飯島 満

◆武蔵保谷村だより 高橋文太郎の『武蔵保
谷村郷土資料』を手掛かりに
下保谷の自然と文化を記録する会
〒202-0004東京都西東京市下保谷3-18-3
高田賢方 TEL042-478-3820 2011年創刊

◇9 2013.4 A4 36p
高橋文太郎 時代とまなざし 田口 洋美
椎葉村の狩場概念図のこと 高田 賢
東流する武蔵野台地の川 高山 博之
昭和30年代上保谷(又六)あたりの
記憶 保谷 隆司
御門訴事件 木山 碩夫
屋敷林をめぐる二、三の問題 高田 賢
自然と生きる 西東京市の主な屋
敷林(8) 高橋家屋敷林の今日
的存在意義 小川 武廣
武蔵野の民家の縮尺モデル制作
1/20 縮尺モデル制作：本橋俊

雄／記録・写真：高橋孝
村人と信仰 下保谷村の御嶽講
(豊栄講)と、身延講 高橋 孝

資料1 東京都下農民の食物—市外
保谷村に住みて 『社会科』の
ための食物文化誌』後藤興善
著、火星社、昭和23年7月発行、
から／資料2 保谷の地層断面図
と水《保谷町水道課提供地層図
及び吉村信吉「武蔵野の水」に
よる補足》郷土誌『保谷』第2
号、郷土誌保谷発行会、昭和40
年5月発行、から

Columu 思無邪 亀田 直美

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp

◇34 2013.3 B5 64p 2000円
明治期の地方郵便史—追貝郵便局
設楽 光弘
難破船黄龍丸から流失した郵便物
佐々木義郎

太平洋戦争終戦時の電信秘話 山崎 善啓
史料紹介 ていばーく(通信総合
博物館)資料紹介(18) 現存す
る最古の自動販売機 自働郵便
切手葉書売下機 井上 卓朗

史料紹介
旧刊紹介(8)『郵便用語事典』鈴木 克彦
小包送票異聞(8) 関東州、満
鉄付属地の小包送票 加藤 秀夫

澤まもる氏を悼む
澤護さんとの36年 松本 純一
澤さんを偲んで 浅見 啓明
沢さん、ありがとう 近辻 喜一
澤まもるさんの思い出 佐々木義郎

澤さん、ありがとうございます
星名 定雄

澤まもる様、謹んで追悼の言葉
を… 田原 啓祐
澤さんのご逝去を悼む 田中 寛
澤さんの思い出 井上 卓朗

近刊紹介
中国の「非機動車郵路」の話 (星名)
星名定雄著『イギリス郵便史
文献叢策』 片山七三雄

2012年度総会・研究発表会の報告
島崎透氏「明治初期の貨幣と郵
便切手図案」、小林彰氏「横濱
洋菓子事始、ペイルー族の足
跡」、佐々木義郎氏「難破船黄
龍丸から流失した郵便物」、行
徳国宏氏「戦後の速達郵便史」(上遠野)

◆洋学史研究 洋学史研究会
〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482
年5000円 1984年創刊

◇30 2013.4 A5 188p
巻頭言「洋学史研究」第30号記
念号によせて 片桐 一男
上杉鷹山の医師遊学の奨励 片桐 一男

『英和对訳袖珍辞書』編纂におけ
るオランダ語の役割 三好 彰
ジョアン・ロドリゲスとヨハン・
ヨセフ・ホフマンの日本語敬語
分析について 青木志穂子

幕末における長崎奉行所の手掛
(与力)の実態 大井 昇
特集 研究会創立30周年を迎えて

特集にあたって 編集委員会
研究会創立30周年を迎えて 佐藤 隆一
研究会創立30周年にあたって思い
出すことなど 岩下 哲典

洋学史研究会30年の思い出 長田 和之
大阪に適塾を訪ねて 高橋 勇市
『洋学史研究』がお手元に届く
まで 松本 英治

はじめての研究報告 濱口 裕介
洋学史研究会と思い出 小田倉仁志
洋学史研究会30周年によせて 高杉 世界

『洋学史研究』総目次(創刊号から
第30号まで)
片桐一男編『日蘭交流史 その人
・物・情報』目次

洋学史研究会 例会一覧
洋学史研究会 新春研究大会一覧

◆論集きんせい 近世史研究会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
TEL03-3812-2111 1978年創刊

◇35 2013.5 B5 82p
幕府代官手代の職分の継承と職務
情報蓄積—代官手代文書の検討
を通じて 戸森麻衣子

近世後期の鳥取藩御内用頼 荒木 裕行
書評 小関悠一郎『明君』の近
世—学問・知識と藩政改革—
(吉川弘文館、2012年) 清水 光明

史料紹介 「順立帳目録」(2) 若山 太良
近世史研究会活動報告

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
平倉正方 TEL0465-34-8363 年3000円
1961年創刊 odawara-shidan.hustle.ne.jp

◇233 2013.4 A4 32p
「根府川関所日記書抜」の翻刻 下重 清
「文の会」古文書グループ 山口 克子
こゆるぎ座創世記(上)
その1 太田俊郎さんの語り

小田原史談会報委員会
こぼれ話(1) 木下順二は感激だ
よ(昭和24年)／こぼれ話(2)
勅語事件(昭和25年)／こぼれ
話(3) こゆるぎ座を観てる
小田原の郷土史再発見 北条氏綱
と「小田原の街づくり」 石井 啓文
ラフィンの思い出(上)
一晩年の土方ハルが語った 土方 壮三
小田原藩浅田兄弟の敵討
『孝貞義鑑』散策(16) 鈴木 好
小田原史談会初詣 高幡不動尊金
剛寺と川崎民家園の旅 河合多美江
平成25年度『小田原史談会』総会・
講演会のお知らせ／小田原史談
会史跡めぐり案内 中村郷から
始まった小田原の歴史

◆開国史研究 横須賀開国史研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政策推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊

◇13 2013.3 A5 151p 800円
口絵資料紹介・解説 『異国船渡
来之図』下巻よりサラトガ号
紙本着色 平尾 信子
『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
総会記念講演 日本開国史を見な
おすために一江戸湾を舞台に 井上 勝生
開国史講演会
べりり物語(第一部)講演 山本 詔一
べりり物語(第二部)対談
齋藤純／山本詔一
開国史研究講座講義録 徳川将軍
の「旅」と浦賀一天保の日光社
参りと文久上洛 椿田有希子
史料を読む
『横須賀繁昌記』を読む(3) 山本 詔一

『嘉永新聞』と越後高田藩 齋藤 純
研究レポート
詳解浦賀詰通詞 山本 慧
ペリー提督のチェスト 碓井 文昭
研究会一年の活動 事務局

◆かながわの民俗芸能
神奈川県民俗芸能保存協会
〒252-0312相模原市南区相南2-6-37
TEL042-745-7478 年1500円
www.kanagawa-folklore.jp

◇77 2013.3 A4 24p
会長挨拶 協会の現状と課題 石井 一躬
きらめくふるさと2012かながわ民
俗芸能祭特集
民俗芸能の意義 目黒久仁彦
民俗芸能祭に参加して 鈴木 公子
かながわ民俗芸能祭に出演した
子供達 湊 不二雄
2012かながわ民俗芸能祭に参加
して 刑部 武子
平成24年度神奈川県民俗芸能保存
協会表彰式
郷土芸能の大切さ 青木 昭三
表彰をいただいて 芦川 昇
受賞の榮譽に浴して 平野 達雄
民俗芸能散歩
御霊神社の面掛行列 小林 章子
見学会参加記
平成24年度の見学会 松岡 敬介
小論・少考
神奈川県における獅子舞文化 高橋 裕一
内川の虎踊り 川本真由美
日本獅子舞来由の考察 荒井 俊明
竹本美尾太夫について 三上 芳範
保存会だより
微笑みと感動への道筋 岩本 章治
獅子舞に出会って一伝承芸能・

記述書作成への取り組み 吉村 俊介
第40回相模人形芝居大会開催に
よせて 山戸アサ子
「神楽舞と神楽囃子」のワーク
ショップに参加して 佐野 優子
会員だより
箱根板橋地藏尊大祭 祖父江精治
子供達の「いなりっこ」の大切
さ 永田 泰祐
お峯入り—古代祭祀の面影 保田 晴男
伝統芸能に負けない「郷土芸能」
山田 隆司
「有形のもの」にも目を向けた
保存・伝承活動を 関根 訪
海に月 人の星—小田原囃子多
古保存会とともに 徳山 泰子
平成24年度新規入会団体紹介
平戸古民謡保存会について 三枝木信義
芝組／龍保睦木遺保存会 佐久間 博

◆県史史談 県史史談会
〒243-0033神奈川県厚木市温水342
内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊

◇52 2013.1 A5 68p
相模国分寺の変遷と歴史の空白期
—飯田孝さんと国分寺薬師堂跡
柳下 安行
横須賀の集団学童疎開 千葉 弘
宝金剛寺不動三尊像中尊大会納入
品について 吉野 勝洋
国府津・千代台地の文化財・史跡
巡り 柳下 安行
平成24年度事業報告と役員名簿

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会
〒240-0112神奈川県三浦郡葉山町堀内1874
NPO法人葉山まちづくり協会内
TEL046-876-0421 2004年創刊

◇10 2013.4 B5 126p 900円
《特集 続・長柄》
はじめに 内藤 範子
長柄の地名 鶴 泰
葉山の家紋と長柄の家紋
—7年間の調査を終えて 今井 俊夫
国指定史跡長柄桜山古墳群 山口 正憲
明治30年代 長柄勤農家の日々
—石井重太郎氏農業日誌(1) 鳥居 信吉
「長柄新名所はめ言葉」(転載)・
井上ヶ谷の7軒(画：根岸稔) 石井 耕策
長柄の神社の御祭神さま 高城 通教
20年ぶりに復活した幻の山車 和田 英男
御霊神社山車の復活物語(転載) 笠原 吉昭
長柄の祭囃子 石井 正明
大山地区の生活文化と行事
高梨勇次／高梨新一
少年時代の思い出
写真・根岸稔／聞き書き・矢嶋道文
創作民話 鬼ヶ作 山本 貫恭
長柄を語る会 鈴木雅子／池田京子
長柄氏はどこに行ったのか—美濃
長江氏末裔・宏景氏の著作『絆』
から 鶴 泰
鎌倉深沢と長江氏 伊藤 一美
宮城県『河南町史』にみる長江氏
の足跡 滝本 誠一
殿谷戸史蹟顕彰会 長江太郎義景
公流鎬馬の回想 國立 宏宗
桜山丘陵の道とヤマトタケル道を
想う 鶴 泰
ヤマトタケルノミコト東征幻想—
三浦半島の古東海道を尋ねて 松元 岑生
地域史話
子どもたちに葉山を愛する心を
山本 陽子
堀内のチョロケン 堀内鷹／小峰輝智
古文書部会

古文書に見る長柄村 濱岡 辰紀
堀内・葉山家に残る「船送り状」
滝本 誠一
史料に見るコレラの大流行と葉
山 内藤 範子
平成24年度発掘・整理古文書目
録 古文書部会
「葉山郷土史研究会」の紹介
—平成24年度活動報告 編集部
江戸時代にいたるまでの葉山年表
と索引—創刊号から第9号まで 編集部
コラム
昭和7年山彦夜学会（『セピア色
の三浦半島』より） 辻井 善弥
昭和30年代の芳ヶ久保の追憶 滝本 誠一
長柄雑考（ながえとながら） 有本 雅彦
全国の長柄・長江地名調査一覽
表 鶴 泰

◆クロス 常民文化研究会
〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
西海賢二 年1000円 1979年創刊
◇133 2013.5 B5 6p
博物館の怪談 時枝 務
家計簿と地域社会—食文化(4) 洪 志 承
家計簿と地域社会—社会生活(4) 張 艶
宗教的職能者と情報伝播
—武州一揆と御師 西海 賢二
研究会活動報告

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告
〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41
TEL0463-33-5111 1977年創刊
www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/
◇36 2013.3 A4 86+20p
平塚市の水準測量からみた近年の
上下変動
森慎一／目黒常雄／飯田和好／

坂口尚子／家入真理子／芹澤宣子
相模の祭囃子研究(3)—平塚市に
おける「刻み」「昇殿」「神田丸」
等の楽曲分析 浜野 達也
びわ青少年の家(平塚市土屋)周辺
のコケ植物 湘南コケの会
米軍のコロネット作戦に対する第
53軍の本土防衛—二宮町におけ
る特殊地下壕 市原 誠
2012年の太陽黒点
鷹宏道／澤村泰彦／塚田健
近世相模川・相模湾水運における
須賀村の位置 早田 旅人

◆湘南考古学同好会々報
〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
19-104 寺田兼方 1980年復刊
◇131 2013.4 B5 16p
遺跡発掘調査報告書つれづれ 須田 英一
さば神社を考える(20) 西村堅一郎
心の考古学まで(4)
金木の偽石器の事 古要 祐慶
第30回藤沢市遺跡調査発表会を開
いて 鈴木 祝子
グループ活動の記録(4)「渋谷城
跡」について(第5・6回活動) 米 諄
グループ活動の記録(5)「渋谷城
跡」について(第7回活動) 山崎 英昭
'12年藤沢市・隣接市町村考古学関
係主要出版物一覽 伊藤 郭
平成24年度湘南考古学同好会
活動の記録
第8回若手研究者を囲む勉強会
青森県下北半島 尻労安部洞穴
遺跡から出土した旧石器時代の
動物遺体 澤浦亮平／佐藤孝雄／澤田純明
／尻労安部洞穴遺跡発掘調査団

◆東海大学学園史ニュース
東海大学学園史資料センター
〒259-1292神奈川県平塚市北金目4-1-1
同窓会館2階 TEL0463-50-2450
www.v-tokai.ac.jp/shiryo_center/
◇特別号 2013.3 A4 20p
《東海大学建学70周年記念講演会記録》
開会あいさつ 橋本敏明／益井邦夫
報告 学園史資料目録 Web 検索
システムについて 馬場 弘臣
講演 学びがいのある大学づくり
と学園史・アーカイブスの役割
寺崎 昌男
閉会あいさつ 蟹江 秀明

◆藤沢市文書館紀要
〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6
TEL0466-24-0171 1975年創刊
◇33 2013.3 A5 65+57p
藤沢の震災被害の復元について 澤内 一晃
『藤沢山日鑑』記事年表
(文政8年～文政11年) 酒井 麻子
文書館日誌(2009・2010)
藤沢市史年表稿(平成20・21年)
山田之恵／澤内一晃

◆三浦一族研究 三浦一族研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政策推進部文化振興課内
TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊
◇17 2013.3 A5 183p 800円
口絵資料紹介・解説 「正札附根
元草摺」より「小林の朝比奈」 高橋 秀樹
ごあいさつ 吉田雄人／小林安雄
総会記念講演 三浦道寸と太田道
灌—戦乱の世に生きた武家歌人
の実像を探る 小川 剛生
研究 横山党古都保忠と和田義盛

の動向・婚姻関係についての—
考察 安部川智浩／三浦直子
講演会 三浦一族と平清盛 本郷 和人
基礎講座 三浦一族 人物編2 第
1回 和田義盛—鎌倉殿侍別当の
実像／第2回 朝比奈義秀・和田
朝盛—和田一族の芸能と伝説化
／第3回 三浦胤義—慈光寺本承
久記と紙背文書からの再検討／
第4回 三浦義村—中世国家再建
の担い手／第5回 佐原家連・盛
連—地方支配と在京活動 高橋 秀樹
学習講座 第1回 平家滅亡の前後
／第2回 頼朝の挙兵と三浦一族
鈴木かほる
書評 『横須賀市史 通史編 自
然・原始・古代・中世』の発刊
によせて 伊藤 一美
和田合戦800年に寄せて
鎌倉と和田義盛の滅亡まで 小林 安雄
史跡めぐり
平成24年度 第1回～3回 釵持 輝久
吾妻鏡を読む会 クライマックス
を迎えた吾妻鏡を読む会 森 敏晴
会員コーナー
二本松藩士三浦家について 金子 千滋
京都の浄土宗寺院に伝わる和田
義盛に関する伝承 安田 直彦
中世の三浦一族 坪 三次
三浦一族の歴史と文化を訪ねて
岩永 律男
三浦党矢部一族の調査 矢部 武司
三浦一族研究会平成24年度史跡
めぐりに参加して 佐々木 成
三浦一族関係文献目録(17) 中里 行雄
研究会一年の活動

◆民具マンスリー

神奈川県日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇541 (46-1) 2013.4 A5 24p 350円
コオロギの伝承—愛知県をめぐり
岐阜県を尋ねて 脇田雅彦／脇田節子
民具短信 私のおしゃもじ考(1) 加藤 節男
◇542 (46-2) 2013.5 A5 24p 350円
鑄造業の近代化と民俗技術—伝統
的焼型法と西洋式生型法 宇田 哲雄
明治の農具絵図(4) 一明治一三年
の農具絵図(2) 分類からみた
作成経緯 桂 眞幸

中 部

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会

〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立中央図書館文書資料室内
TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊
◇50 2013.5 B5 315p
《第50号 記念号》
『長岡郷土史』第50号刊行記念特集
『長岡郷土史』第50号刊行記念
講演録 わたくしの長岡 森 民夫
『長岡郷土史』への願い 田所 和雄
伊東多三郎先生の遺訓 井上 慶隆
回顧 三島億二郎の拓殖事業を
支えた人々 古田島吉輝
つらつらに小稿を憶う 鈴木 昭英
『長岡郷土史』と私 本山 幸一
註文多少 内山 弘
四分の一世紀
編集に参画して思うこと 稲川 明雄
古文書に見る生きた歴史 今井 雄介
中世城館跡の調査・研究を志し
て 鳴海 忠夫
『長岡郷土史』と考古学 小熊 博史

『長岡郷土史』と私

杉本鉞子との歩みを振り返る
—発表の場をありがとう 青柳 保子
郷土史に思う 今井 崇
表紙目次と奥付から読む『長
岡郷土史』 恩田 孝重
悠久山で思うこと 樺澤 幸子
ウンチョウの火鉢 桜井奈穂子
『長岡郷土史』との機縁 菅原 茂生
一年に一本 田中 洋史
『長岡郷土史』と関原歴史研
究会 東樹 隆一
『長岡郷土史』に投稿して 中島 榮一
『長岡郷土史』と人の記憶 西 和美
『長岡郷土史』にこれから書
きたいこと 野村 和正
『長岡郷土史』と私 林 昇
突然の執筆依頼があり、慌て
たこと 星 榮一
長岡の古城跡 中沢城について 中村 祥一
春日神社と中世の越後の関 鰐淵 好輝
明暦三年 前島村他四カ村の「村
立て一変」についての考察 今井 雄介
幻の古新田を探る 志水 博
火事見舞帳を読みとく—雲出村山
田家文書「火災用留」 新田 康則
長岡藩にみる公文書管理の一事例
本山 幸一
越後・長岡の和算(数学)の歴史(3)
石田 哲彌
栃尾における越後生糸のブランド
化の試み 青柳 正俊
高橋竹之介の活動
—勤王運動を中心に 中島 榮一
河井継之助と小千谷談判 稲川 明雄
北越戊辰戦争 寺泊沖海戦 鳴海 忠夫
宮本不動院・加賀藩土之墓 長谷川清司
小学校沿革史に見る旧長岡藩士族

古田島吉輝

『河井継之助傳』と曾祖父「肥田
畏三郎」(5)—『錦川遺稿』を開
いて 吉崎こずえ
工芸作家 田中俊次 内山 弘
無一文から千町歩地主に
—吉沢仁太郎の業績 小林 芳郎
坂牧善辰の教育実践と教育観 滝沢 繁
関原地区における医師松本夫妻の
活動 林 昇
再考・王番田小作争議とその背景
小片 莊平
越後長岡一円の力士群像 広井 忠男
『北越新報』に掲載された長岡大
花火の古写真(後) 長谷川 健一
西藏王「山崎家文書」にみる山崎
晃・正の足跡と活動(2)—北越
製紙と山崎正 松本 和明
太平洋戦争下の暮らしと教育
—古志郡入東谷村の場合 田所 和雄
劇場・映画館の移り変わりと長岡
観光会館 長谷川浩一
小復刻 『長岡郷土史』第19号(昭
和56年)掲載 タイムカプセル
始末 斎藤 茂吉
巡見報告
アオーレ長岡で歴史散歩 西 和美
北越戊辰戦争伝承館と戊辰戦跡
めぐり 三堀 正純
城下町村松めぐり堀家ゆかりの
地 村松城の面影をたずねて
腮尾 功
開催報告
平成24年度古文書解読講座 小林 良子
第3回「長岡郷土史を読む会」に
出席して 広川 潔
会務報告／郷土史の窓(1)~(11)
『長岡郷土史』創刊号~第50号

表紙索引



*昭和53年9月、研究会設立の翌年の創刊から53年で50号を迎えた。その記念号はB5判、315P、執筆者数延べ54名という浩瀚なものだ。再録された創刊号発刊のことばには、この年は明治23年に先達によって同地に「温故談話会」が生まれて70年になることや、「温故の栞」を発刊して郷土史研究に裨益したことなどに触れながら、「戦後の郷土史研究は、従来の郷土史家の好笑的な殻から脱して、史料の再検討、問題意識の確立による再出発にあり、その基盤には、新しい郷土を認識するという自覚がよこたわっている。」と研究会と機関誌発行に当たったの決意が力強く表明されている。その思いが継承されたからこそ半世紀の歴史を刻むことができたのであろう。それでも創刊から深く関わって来られた田所和雄氏から、今後の機関誌に市文書資料室関係資料や成果の紹介しておくことの提案がされているのははじめ、近年、民俗芸能関係の論考が少なくなっているとの指摘など、多くの会員から会誌と会活動のさらなる充実に向けての意見が寄せられているのは、同研究会活動への期待感の表れであると思う。創刊の志を引き継ぎ、郷土発展の礎となるべく着実に歩みを進めて行って欲しいと願う次第である。

◆まきの木 巻郷土資料館友の会
〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊

◇98 2013.4 B5 27p
史料紹介 村送り状(1) 亀井 功
菱巻湖(1) 磯島 達典
巻婦人会発足の日 多賀 良
酒の話 笹口 孝明
平成24年度秋の視察旅行 旧西蒲
南部・燕地域の歴史文化を訪ね
て 江端 繁
平成23年度決算・事業報告/平成
24年度予算・事業計画
平成24年巻地区学会の動向
巻郷土資料館だより

◆良寛だより 全国良寛会会報
〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇140 2013.4 A4 20p
良寛遺墨解説(98)
良寛作「無縁供養の詩」 加藤 僖一
新 良寛尊像つれづれ(2) 小杉放
庵筆 良寛と手毬 加藤僖一氏
所蔵 涌井 茂
折々の良寛(29)
食を乞うことについて 長谷川義明
平成25年度(第36回)全国良寛会柏
崎大会「予告」/平成25年度
第36回全国良寛会 柏崎大会
参加登録・総会・交流会・宿泊
及び見学会のご案内
第36回全国良寛会総会 歓迎アト
ラクション 綾子舞とは…(柏
崎市綾子獅子舞保存振興会)、
柏崎フィルハーモニー合唱団、
柏崎フィルハーモニー管弦楽団

全国良寛会柏崎大会 見学のご案内(3) 洞雲寺/極楽寺/貞心
尼の歌碑
『良寛堂建立の記録—佐藤耐雪の
「用留」を読む』に寄せて 小島 正芳
良寛と三条大地震
死ぬ時節には死ぬがよく候 大星 光史
週刊朝日百科 仏教を歩く 改訂
版(全30巻)/良寛記念館展示紹
介 良寛遺墨と敬慕者の名品展
平成25年4月27日~7月31日
良寛 吉野河畔に滞在(1) 岸本 彰夫
良寛界における女流の活躍時代 松世 勝久
良寛 春の鳥のうた 素描 吉田 福恵
良寛の出家に思うこと
—空海の出家を思いつつ 中川 幸次
「良寛さんは五合庵」
ふるさとの歌まつりで歌う 藤田 正夫
トピックス/新刊紹介 『大智傷
頌の良寛語釈を読む』本間勲著
私家版、『良寛堂建立の記録—
佐藤耐雪の「用留」を読む—』反
町タカ子著 考古堂書店刊

◆北陸石仏の会会報
〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772
年3000円 1993年創刊

◇42 2013.4 A4 6p
北陸地方の八大龍王 滝本やすし
富山市中野来迎寺の「秘鍵大師」平井 一雄
『庄川町の石碑』発行される 尾田 武雄
第45回例会 射水市小杉町の蓮王
寺にて 平成24年10月14日
北陸石仏の会 第46回例会 俱利
伽羅峠と周辺の石仏めぐり 平
成25年5月12日(日)

◇43 2013.9 A4 6p

新庄 覚性寺の庚申塔 平井 一雄
鳥田の石仏 滝本やすし
第46回例会の報告を、二名からい
ただきました。第46回例会報告
俱利伽羅峠と周辺の石仏めぐり
平成25年5月12日(日) 酒井靖春/川端典子
北陸石仏の会 第47回例会—旧三
国町・芦原町の石仏めぐり 平
成25年10月20日(日)

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊

◇60 2013.3 B5 86p
《創立60周年記念号》
巻頭言 山前 圭佑
加南地方史研究会第60号発行に寄
せて 坂本 和哉
小松を旅した人々 山前 圭佑
九龍橋川の歴史 犬丸 博雄
—街にもたらした恩恵 犬丸 博雄
加賀泣き伝説の出どころ 池端 大二
—川先生に導かれて 池端 大二
文政六年四月加州湊浦破船に關す
る御用留について 岡田 孝
百姓の持ちたる国の蓮如上人とド
イツの宗教改革者マルチン・ル
ターについて 小枝 俊弘
小松周辺の地震記録 小屋開地稔
—明治以降の年表 正和 久佳
史料に繙く「古九谷の謎」 正和 久佳
顕彰碑・紀行碑を訪ねて 竹下 一郎
越中守大伴家持の能登巡行 福田 義光
「神話」を考える—御伽草子から 山本 恭子
史料紹介 小松市 那谷寺文書に
ついて(2) 室山 孝

報告 若狭と丹後をたずねて青空
教室—熊川宿・舞鶴引揚記念
館・舞鶴市立赤れんが博物館・
伊根(舟屋)の町並み散策 橋本 正準
会員消息 山前圭佑/犬丸博雄/山本恭子
/高酋外/正和久佳/小松俊弘
会誌51号より60号までの目次一覧
活動報告一覧

◆加能民俗 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1950年創刊

◇156 (12-14) 2013.3 A5 11p
白山麓河内谷における野兎の民俗
—内尾と久保の場合 天野 武
失墜するワシタカージャーナリズ
ムと民俗(6) 大門 哲
寄贈図書紹介(平成24年)/会務報
告

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録
加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 1983年創刊

◇30 2013.3 B5 44p
《北陸三県民俗の会第37回年会記録 2012》
自由課題
学び伝える加賀万歳 東條さやか
おせちの逸品
南砺地方のかぶらずし 加藤 享子
福井県嶺南四郡の神社に遺る若
連中遺物 多仁 照廣
共通課題
北陸の地域おこし—伝統と創造
アニメ聖地巡礼と地域おこし—
『花咲くいろは』と金沢の例
から 由谷 裕哉

町名は歴史をひもとくパスワード
晒谷 和子
二つのかんこ踊 坂本 育子
北陸三県の民俗研究動向 石川県
の民俗研究動向／福井県の民俗
研究動向／富山県の民俗研究動
向

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇63 2013.4 A4 4p

歴史研究所第3期注記計画がスタートします

飯田市歴史研究所 平成25年度事業概要／平成24年度研究助成報告会が開催されました「飯田市長野原 金山神社考察」長野原歴史研究会

飯田アカデミア第68講座／定例研究会／新刊案内 飯田市歴史研究所編集・飯田市教育委員会発行 飯田・上飯田の歴史下／歴史研ゼミナール／歴史研究所の催事スケジュール／歴史研日誌

未来につなぐ“扉” 竹ノ内雅人

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇1019 (61-4) 2013.4 A5 50 500円
《考古学特集》

口絵 「信州伊奈郡老ノ屋布城」 松澤 保
幻の「信州伊奈郡老ノ屋布城」の
想定地 松澤 保
弥生大型壺 桐原 健
豊丘村林里遺跡の土偶小破片—中
部高地型刺突文土偶の提唱 神村 透

甲冑の内面観察について 片山 祐介
飯田市神之峯城跡・風張遺跡の発
掘調査概報 河西 克造
平成24年 下伊那考古学年報 岡田 正彦
◇1020 (61-5) 2013.5 A5 50p 500円
口絵 弘化三年「下市田前川除御
普請所絵図」 橋都 正
畝町地名考(下)

—大島城下の事例をもとに 宮澤 恒之
お万様の墓(考)
—関氏滅亡の悲哀を語る 松澤 英男
内井—その開墾と井汲いの記録 北原 敬悟
南信州の弥生時代の伐採石斧—石
斧で本当に木を伐採できるのか
三輪 拓
命拾いした文化財(2)
—根羽村月瀬の大スギ 山内 尚巳
「高松古文書クラブ」について 吉澤 章

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円

◇675 (57-3) 2013.4 A5 48p 500円
《飯田線特集号》

飯田線の魅力 小林 哲
伊那町駅の開設とその周辺の賑わ
い 春日 博人
「鉄道っていいな」 尾崎 晃一
伊那の暮らし100年イベント
地域活性化推進委員会

幻の「伊那町南停留所」—アジタ
ル・コモンズがひらく新しい地
域知の世界 平賀 研也
伊那市創造館第9回企画展「飯田
線マニアックス」—秘境駅と川
村カ子ト 捧 剛太
飯田線に関する資料紹介 『伊那路』編集部
高山の植物(8) 高山の代表選手 田中 茂

文化短信 地域誌の刊行相次ぐ 山口 通之
考古あれこれ(20)

ふたたび風三郎神社奥の院 伊藤 修
師匠の背中(2)より(54)

春の準備作業 若林 徹男
◇676 (57-5) 2013.5 A5 40p 500円

北の沢めがね橋の架橋—伊那谷の
近代交通網整備の中で 田代 幸雄
随筆 鶴亀不在の高砂館 安田 新
死後の風習(魂呼び・廻り場) 宮原 達明

戦国時代伊那市山寺の地侍・林式
部の城跡 林 洋一
赤羽篤先生と竹内仲之のこと 飯澤 文夫
思い出の人・思い出の事(12)

「澄月上人画像」里帰り展 桃澤 匡行
日本の子育て(2) しっかり抱い
てそっと地面に 大槻 武治
高山の植物(9)
ファンの多い人気者 田中 茂

文化短信 春を告げる鳥たち 吉田 保晴
古文書の窓(111)
新年祝賀新暦遵守方郡長布達 伊藤 一夫
師匠の背中(2)より(55)
山菜狩り 若林 徹男

◆伊那民俗

柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊

◇92 2013.3 B5 8p
二本松／飯田遊郭 長姫楼 塚平 寛志
飯田の悪所 飯田遊郭

—郭の沿革と戦後の遊興 塚平 寛志
民俗学入門講座 第1回「民俗の発
見」福田アジオ所長講演要旨 今井 啓
ユイの相手は誰なのか 小野 博史
お知らせ 櫻井弘人氏「本田安次

賞特別賞」受賞記念祝賀会を開
催
研究所部会活動案内／事務局だよ
り／美博だより

◆伊那民俗研究

柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊

◇20 2013.5 A5 84p

特別インタビュー 柳田国男と柳
田家—柳田為正氏インタビュー
の記録 篠原徹／福田アジオ
論考 柳田国男・折口信夫と三遠
南信 小川 直之
寄稿 柳田国男と山崎珉平・矢田
部良吉 島村 利雄
資料紹介 「民俗の宝庫〈三遠南
信〉の発見と発信」新資料の紹
介(1) 向山雅重の『野帳』に
みる渋沢敬三の教え 櫻井 弘人
伊那民俗学研究所 活動報告
(2011.4~2012.3)

◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp

◇759 (65-4) 2013.4 A5 96p 900円

戦国時代武田氏の制札の研究 佐藤 雄太
非常時と女帝の宮都—性別により
左右の配置が逆になる 柳沢 賢次
信州安曇野 歴史故事探訪 伝承地
名攷—史料に見え 地名に残る
安曇野の歴史 草間 美都
研究ノート 廃仏毀釈で壊された
寺の行方—安曇野市堀金大同寺

跡を例に 宮下一男／百瀬新治
史料紹介 木曾・旧宮越宿と原野
村の中山道彩色絵から(下)一農
家の大きさをみる 神村 透
提言 信濃史学会役員体制について
第十期新役員体制検討特別委員会
報告 信濃史学会第97回セミナー

—近世史の新視点 小野 和英
◇760 (65-5) 2013.5 A5 84p 900円

松代藩における地方支配と文書の
管理 原田 和彦
伊那県商社事件顛末記(上) 青木 隆幸
仁徳条と履中条の断層と天皇の実
在性 山中 鹿次
武田領国における蒔高制 鈴木 将典

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/

◇288 2013.4 A5 48p 500円

口絵 今年開催の三つの御開帳 小林 一郎
信濃の寺社の江戸出開帳 小林 一郎
夏目漱石と信州(3) 漱石とそば 中田 敬三
故郷篠ノ井を出て七十年の歳月を
偲んで 北村 市朗
長尾眺望の虚像と実像 土井 重男
善光寺平の方言集(3) 北村俊治／小林一郎編
私たちの会のあゆみ
善光寺北部(箱清水・上松)史跡
めぐり
善光寺北部(箱清水・上松)史跡
めぐりに参加して 北澤 久

◆長野県民俗の会通信

〒390-0851長野県松本市島内3427-45
小原稔方 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/

◇235 2013.5 B5 8p

建築史学と考現学の狭間で民俗学
伊藤 友久
籬をめぐるあれこれ 小野 和英
湧水地帯の諸様相(2)
一万水川水系の魚 重野 昭茂
葉書でつぶやくコーナー
ネマキのこと 福澤 昭司

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇119 2013.3 B5 28p

輪之内学研究会の紹介 田中 國昭
平成24年度総会時講演会
飛騨の歴史的風土と文学 林 格男
ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開
催 水野 秀則
北方神社のねそねそ祭り
—復活した田遊びを見て 清水 昭男
「白鳥」という地名 白石 博男
故道下淳氏・山田賢二氏を悼む 丸山幸太郎
書窓の風
西濃 輪之内学研究 横幕 孜
美濃 「郡上かるた」発行される
馬淵 旻修
飛騨 手作りの史誌と史料目録
福井 重治

郷土関係新刊書目録(105)

郷土関係逐次刊行物文献目録(104)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-c.jp/

◇71 2013.4 A4 4p

水上姉子神社の太々神楽
名古屋市緑区大高町 吉川 祐子
◇72 2013.5 A4 4p
聖覚忌の源氏供養講式
京都市 安居院西法寺 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇415 2013.4 B5 4p 200円

紹介
郷土史機関誌「南史」の紹介 肥田 正巳
新刊紹介 樋口雄彦氏著『第十六
代徳川家達—その後の徳川家と
近代日本』 岡村 龍男
市原さんとの出会いと会創立の前
後 加藤 善夫

◇416 2013.5 B5 4p 200円

4月例会報告 鈴木 雅子
新刊紹介 樋口雄彦『箱館戦争と
榎本武揚』(吉川弘文館、2012
年) 橋本 誠一
書籍紹介
「三島・沼津・清水町石油コン
ビナート建設反対運動資料」
(『戦後日本住民運動資料集成
8巻』) 発刊のお知らせ 平井 和子
枝村三郎著『原水爆と原水爆禁
止運動六〇年』 発刊

◆静岡県民俗学会誌

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
1977年創刊 web.thn.jp/s-folklore/

◇28・29 2013.3 B5 60p

平成21・22年度大会講演
会津の狩猟伝承 石川純一郎

ノスタルジー研究の現在と博物
館における昭和ノスタルジー
のゆくえ 金子 淳

研究論文

静岡民具学事始め—静岡時代の
内田武志の再評価 大村 和男
道の記憶—旧楊原地区における
古道の意義 神田 朝美
事例報告

島田市立博物館における「昭和」
展示について 朝比奈太郎
富士市立博物館における「昭和」
展示について 井上 卓哉

平成21・22年度卒業論文発表会発
表要旨
民俗芸能伝承の現代—西浦の田
楽を中心に伝承の実態を考察
秋山 裕貴

静岡県の方言—地域の特徴から
方言を考える 松橋 容子
富士山本宮浅間大社秋季例大祭
—秋祭りと富士宮囃子を中心
に 古川 正味
お茶のまち静岡のまちづくり—
若者への茶文化発信・振興を
目指して 平田 敦史

新刊紹介

『富士山須山口登山道調査報告
書』 中山 正典
中村羊一郎著『中村羊一郎の静
岡物語② イルカの眼』 富山 昭
中山正典著『風と環境の民俗』 富山 昭
国記録選択無形民俗文化財調査
報告書『小稲の虎舞』 大嶋 善孝
吉川祐子編『下賀茂の籠獅子と
神楽—静岡県賀茂郡南伊豆町』
中村羊一郎
『国指定重要無形民俗文化財

見付天神裸祭の記録―「以前の裸祭」の調査報告― 松田香代子
佐々倉洋一著『風位の民俗』 大嶋 善孝
静岡県にかかわる民俗学関係文献
目録（2009・2010年度） 大嶋 善孝
バックナンバー一覧

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/
◇147 2013.4 A4 8p
平成25年 総会・大会案内
講演要旨 災害の民俗 小杉 達
研究発表要旨
秋葉灯籠の型式学的分類とその
分布 竹内 直文
ボサマと笑い 大嶋 善孝
第6回卒業論文発表会・相談会
終わる
奉納絵馬の変化―「えんむすび」
とハート型絵馬を通して 渡辺 好洋
シリーズ食(23)
大晦日の大蕎麦打ち 外立ますみ
静岡の民俗語彙・方言短信 エエ
ミ(家見)／ミヤマシイ／ヨウジ
ヤ 勝間田仁美
博物館情報／受贈図書・刊行物紹介

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
◇238 2013.4 A5 32p
熱田社の和歌と文学(39)―『歌枕
秋の寝覚』・『日本地名箋』の場
合 八木意知男

◆郷土研究誌みなみ 南知多郷土研究会
〒470-3412愛知県知多郡南知多町大字豊浜
字須佐ヶ丘5 南知多町教育委員会内
TEL0569-65-2880 1966年創刊
◇95 2013.5 A5 80p 500円
表紙 豊浜影向寺の本堂向拝
影向寺の立川彫刻 中村 祥
住吉大社内海船寄進常夜灯と「天
明六年えびす講定書」にみる戎
講の成立背景(1) 丸山 専治
野間大坊の周辺に点在する源義朝
公に関わる七不思議 松井 一夫
師崎・日間賀島の古墳(平成23年
5月12日 南知多をめぐる) 小松 文五
南知多町内外の桜花事情 内田 恒助
今川義元と上洛
桶狭間の合戦の背景 安原 俊実
師崎勝景今昔 知多絶景「師崎勝
景絵葉書」より 永田 久則
知多地名譚(2)
地名の今むかし 加藤喜代吉
解りやすい身近な「郷土の歴史を
語る」 大岩 隆
京都人質八ヶ月の幼年藩主(2)
一尾張藩青松葉事件始末 木原 克之
南十字星(5)
ハルマヘラ鳥従軍記 内田 白花
鎧かけの松 河和町史
南知多の人 日比與一 中村 祥

◆銃砲史研究 日本銃砲史学会

〒441-1305愛知県新城市武広字信玄原552
新城市設楽歴史史料館内 湯浅大司気付
TEL0536-22-0673 年10000円 1968年創刊
◇375 2013.3 A4 58p 1000円
鉄砲から見た江戸時代砲術の分派
と合流―国友丹波大掾の橘宗俊
銘鉄砲の検討から 安田 修

幕末佐賀藩における長崎砲台の配
備記録 前田達男／田口美季
陸軍大日記の中のスキー―仮想敵
国ロシアに対する冬季作戦から
の考察 名古屋 貢
事務局より
会員動向 霜禮次郎氏、文部科
学大臣表彰を受ける 峯田 元治
例会記録 横須賀見学記 中原 正二

◆地域社会 地域社会研究会

〒484-8504愛知県犬山市内久保61-1
名古屋経済大学内 1977年創刊
◇67 2012.9 A5 74p
口絵写真 軒下―拒絶の意思 岡本大三郎
稲荷ずしの歴史とパリエーション
日比野光敏
郷土館めぐり 羽島市映画資料館
郷土散歩
わが青春の足跡をたどる? 日比野光敏
文化短信(平成24年1月～6月)
◇68 2013.3 A5 58p
口絵写真 町家の天窓 岡本 信也
カンボジアにおけるプオーク 日比野光敏
郷土館めぐり 愛知大学記念館と
綜合郷土研究所 印南 敏秀
郷土散歩
上野間地区の大晦日神事 日比野光敏
文化短信(平成24年7月～12月)

◆名古屋民俗 名古屋民俗研究会

〒489-0867名古屋市瀬戸市大坂町416-9
伊藤良吉方 TEL0561-84-7044 1971年創刊
◇59 2013.4 B5 36p
尾張平野南部低湿地の川の恵みと
食文化 大野 麻子
愛知県のウミガメの民俗 藤井 弘章
追悼 脇田雅彦さんを悼む 伊藤 良吉

◆年報 中世史研究 中世史研究会

〒464-8601名古屋市千種区不老町
名古屋大学文学部日本史学研究室気付
TEL052-789-2228
◇38 2013.5 A5 302p
《特集 40周年記念大会
日本中世史のなかの東海地域》
シンポジウム「日本中世史のなか
の東海地域」の開催にあたって
シンポジウム
権門都市宇治・山田と地域経済
圏 岡野 友彦
観応の擾乱と東海地域 松島 周一
古文書から見た東海の地域性―
色成・引導・盗賊・悪党文言
に注目して 山田 邦明
東海地域における真宗勢力の展
開 安藤 弥
戦国期伊勢・尾張国境地域の歴
史的展開 播磨 良紀
研究報告
『瀧山寺縁起』と中世の地域社会
服部 光真
室町幕府と五山の施餓鬼―明德
三年四月十日の施餓鬼を中心
に 池田 丈明
戦国期の中央―地方の法秩序
―鱒淵寺・清水寺座次相論を
中心に 上嶋 康裕
書札札からみた室町・戦国期西
国社会の儀礼秩序 小久保嘉紀
論文
栄西門流の展開と活動基盤 中村 翼
「分郡守護」論再考 山田 徹
◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円

◇565 (53-3) 2013.5 B5 8p 600円
新刊紹介 三重県史 別編 民俗
三重県史編さん委員会
埼玉・大瀬の獅子舞 石川 博司
表紙写真のことば 美川のおかえ
り祭り 石川県白山市藤塚神社
渡辺 良正
境界を巡る新春行事(下) 高田 照世
受贈資料紹介(519)／新会員紹介
若狭高浜七年祭りへのご案内 入江 宣子
三重県史 別編 民俗 主要目次

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
皇學館大学文学部国史学科研究室
TEL0596-22-6456 1986年創刊
kokushi.kogakkan-u.ac.jp

◇28 2013.3 A5 84p
吉田松陰と大國隆正—幕末維新期
における国学(皇学)思想史の一
側面 松浦 光修
元帥府の設置とその活動 田中孝佳吉
研究ノート
坂本龍馬の名乗りについて 塩谷 涼

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462 年1000円 1978年創刊

◇237 2013.3 B5 12p 300円
陰陽寮官人に関する覚書—光仁～
仁明天皇朝の補任傾向を中心に
宮崎 真由
植垣節也先生の風土記研究
—その学徳を偲んで 荊木 美行
史料編纂所だより 今年度の催し
から

◆三重県史研究
三重県環境生活部文化振興課 県史編さん
グループ 〒514-0006津市広明町13
TEL059-224-2057 1985年創刊

◇28 2013.3 A5 120p
口絵 鳥羽町の大火(大正6年)・
賀多神社お木曳き(昭和5年)
研究ノート
志摩国砲台場跡(1) 村上 喜雄
鳥羽の歌人・新聞記者 宮瀬規
矩 その交友の記録—宮瀬家
(津の国)資料より 尾崎 徹

資料紹介 『三重県史資料叢書5
藤堂高虎関係資料集 補遺』追
加

県・市町史編さんの動向
『三重県史』資料編 近世3(下) 藤谷 彰
『三重県史』別編 民俗 石原 佳樹
『伊勢市史』第五卷「現代編」—
第六回配本、『伊勢市史』第
四卷「近代編」—第七回配本
大道 弦
『玉城町史』近世史料集 第七卷
池山 哲也

『伊賀市史』第五卷 資料編
近世、『伊賀市史』第六卷
近現代、『伊賀市史』第一卷
通史編 古代・中世 笠井 賢治
寄贈図書一覧／県史編さん日誌(抄)
三重大学構内より得られた完新世
の海況変化と古地震の記録 森 勇一

◆戦国史と人 女風林火山
戦国史と人を学ぶ会／
武田勝頼・松姫探究会
〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-11
年1400円

◇53 2013.5 B5 70p
《特集 武田義信・勝頼の妻と子》
武田義信の妻と子 義信事件の謎
首藤 義之

武田勝頼の妻と子
松姫一行の姪と年齢の謎 首藤 義之
戦国史特報 松姫と菊姫の姉妹問
題は、どうなったか／平山優氏
《木曾義昌の正室の真龍院殿が
信玄の娘ではない》とする新説
発表／武田勝頼は甲州で自刃せ
ず、四国土佐に落ち延びてい
た？(2) 編集局

戦国史新聞記事の切り抜き(20件)
戦国史関連特別展の案内書 「竹
生島宝厳寺 江・浅井三姉妹
心の源流—浅井氏の竹生島信仰
と秀吉の大望—」、「信長×信玄
戦国のうねりの中で」安土城考
古博物館、「南蛮との出会い—
高山右近と大友宗麟の時代—」
大阪府・高槻市立しろあと歴史
館

近畿

◆民俗文化 滋賀民俗学会
〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com

◇595 2013.4 B5 12p 400円
七と十一の文化(4) 山本五十六、
欧米七文化の破壊(2) 長谷川博美
新訳「石山軍記」抄(4) 馬場杉右衛門
彦根城の時報鐘について 柏測 宏昭
襖(ふすま)の「引き手」について 柏測 宏昭
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(32) 黒河家宝篋印塔 福澤 邦夫

終戦直後のどさくさ物語
—京都府南丹市美山町 西浦 左門
君ヶ崎から金澤称名寺に至る道程
の昔と今—横浜市金沢区 大喜多紀明
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(24) 菅沼晃次郎
◇596 2013.5 B5 12p 400円
人類は万物の霊長同志なのに何故
お互いに争うのか… 菅沼晃次郎
七と十一の文化(5)
真珠湾攻撃と黒島亀人 長谷川博美
新訳「石山軍記」抄(5) 馬場杉右衛門
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(33) 河桁御河辺神社石
燈籠 福澤 邦夫
栞(しおり)について 柏測 宏昭
鯉節の削り器について 柏測 宏昭
丹波美山の昔ばなし(1)—弘法さ
んの蕎麦は「宿根蕎麦」 西浦 左門
旧白山東光禪寺跡地の現況(前)
—横浜市金沢区 大喜多紀明
講談師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(25) 菅沼晃次郎

◆京都市政史編さん通信
京都市市政史編さん委員会
〒602-0867京都市上京区寺町通丸太町上る
松蔭町138-1 京都市歴史資料館内
TEL075-241-4312 1999年創刊
city.kyoto.jp/somu/rekishi/
◇45 2013.4 A4 8p
学習院学問所雑掌 稲波誠につい
て—「稲波(輯)家文書」から 佐竹 朋子
『京都市政史 第二卷 市政の展
開』を読んで 森 重樹
編さんだより

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
◇834 (83-4) 2013.5 A5 32p 915円
口絵 平成24年9月例会 信州・
千曲川沿いの古寺と石造美術
龍津寺旧弁財天像について 大宮 康男
日本の塔百選(14) 開化寺三重塔
中西 亨
江戸六地蔵の鋳物師、太田駿河守
藤原正義(1)―鋳物師交代(下) 石塚 雄三
ダイビルの装飾彫刻・その後 加藤 繁生
第980回例会 京都市右京区京北
(旧京北町)の文化財を訪ねる 品角阿止美
第981回例会 塩田平と松代、信
州・千曲川沿いの古寺と石造美
術 矢ヶ崎善太郎

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
◇730 2013.1 B5 6p
御領主歴代系図記の福知山城と明
智光秀に関して 嵐 光激
◇731 2013.2 B5 6p
平成25年度 福知山史談会総会報
告(編集者より)
記念講演 演題 芦田均の知られ
ざる人物像(芦田均の生き方
について) 山口正世司 福知山史
談会会長
古文書講座より報告 佐古田廣文
◇732 2013.3 B5 6p
明智光秀と妻木氏 嵐 光激
◇733 2013.4 B5 4p
平成25年度 春の例会 医王山長
安寺(臨濟宗南禅寺派)(概要報

告 編集者より)
訃報 元史談会顧問 塩見仁一郎氏

◆地名探究 京都地名研究会

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2003年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimeil/
◇11 2013.4 A4 57p
巻頭言 「いじめ」退治はどうす
ればいいのか 吉田 金彦
神雄寺址出土の魚文と万葉歌木簡
の意味するもの 吉田 金彦
「朱雀」地名について 清水 弘
三年坂(産寧坂)考―伝承と地名 糸井 通浩
「先斗町」地名考―カルタ用語ポ
ントの新解釈を踏まえて 杉本 重雄
住所表記としての「上ル下ル」―
アガル・サガル考(近現代編) 黒田 正子
名石・藤戸石の軌跡
―歴史の証言として 山崎 泰正
災害地形に関わる神仏地名と社寺
綱本 逸雄
平成24年度 京都地名研究会・活
動報告

◆立命館大学人文科学研究所紀要

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
◇100 2013.3 A5 311p
《100号記念特集号》
刊行にあたって 小関 素明
小特集 近現代日本の憲法と政治
大正期における床次竹二郎の政
治思想と行動 吉田 武弘
「帝国憲法改正案」成立の論理と
条件 頼原 善徳
戦後憲法論と「憲法革命」 林 尚之
人文科学研究所共同研究概要 近

代日本思想史研究会／グローバ
ル化とアジアの観光研究会／グ
ローバル化と公共性研究会／間
文化現象学研究会／暴力からの
人間存在の回復研究会／助成プ
ログラム

座談会 共同研究の将来を見すえ
て 小関素明／赤澤史朗／加國尚志
／篠田武司／谷徹／藤巻正己

総目次
『立命館大学人文科学研究所紀
要』1号～100号
Journal of Ritsumeikan Social
Sciences and Humanities 1
号～5号
立命館大学人文科学研究所研究
叢書 第1輯～第19輯

◆立命館平和研究

立命館大学国際平和ミュージアム紀要
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 2000年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇14 2013.3 A4 63p
刊行にあたって モンテ・カセム
巻頭特集
巻頭論文 平和研究の課題 坂本 義和
報告 平和のための共同体として
欧州連合―日欧の平和研究
ハンス＝ディートマー
ル・シュヴァイスグート
論文 ミュージアム鑑賞空間に関
するデジタル技術を活用した多
層化モデル構築の試み
北野圭介／大島登志一／渡辺修司
調査・研究・実践報告
マーシャル諸島・スタディツア
ーに参加して―ビキニ事件か

ら太平洋諸島地域へ関心を広
げる 小林 茂子
日本における難民の受け入れと
社会統合―タイ難民キャンプ
からのカレン族を事例に 三浦 純子

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇58 (20-3) 2013.3 A4 24p
スポット ミュージアムの所蔵品
(55) 『寫真通信』
巻頭つれづれ
駅で見た不可解な花キャベツ 安齋 育郎
館長だより 複雑な国際環境のな
かで平和認識・平和構築に「芸
術の感性に訴える力」を借りる
平和ミュージアムの役割 モンテ・カセム
ここが見どころ 「傷つきやすさ」
―ジュディス・パトラー 『生の
あやうさ』から展示を考える 加國 尚志
運営委員リレー連載 学生の15年
戦争認識の変化とどう向き合う
―南京虐殺、日本軍慰安婦、
朝鮮併合など 藤岡 惇
ミュージアムおすすめの一冊
『ゲノム科学の展開』藤山秋佐
夫・安田和基他著(岩波書店
2011年2月刊)(『現代生物化学
入門』第2巻 湯浅誠他編) 鈴木 健二
ミニ企画展 開催報告(2012年10
月～2013年2月)
事業報告 特別展 世界報道写真
展2012/2012年度 秋季特別展
未完の作品/永遠のはじまり―
「無言館」収蔵作品から芸術の
原点を考える/ミュージアム開

設20周年記念 国際平和シンポジウム開催報告/学生平和フォーラム開催のお知らせ/第59回不戦のつどい「わだつみ像」前集会/第19回 日本平和博物館会議に参加して

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/

◇304 2013.4 B5 14p

嘉永六年春の吉田松陰(1) 下村 欣司
子どもの頃の触れ声と職人たち 中野 恒一
近世前期の佐野村の構造(下)

二 久左衛門方の構成 井田 寿邦

◇305 2013.5 B5 14p

熊野古道の旅(第19回)

大辺路(1) 北山 理
嘉永六年春の吉田松陰(下) 下村 欣司
子どもの頃の触れ声と職人たち(2)

中野 恒一
和泉の中世城郭(18) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテナショップ一兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊

blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/

◇344 (30-4) 2013.4 B5 12p

巻頭言 古文書苦楽部より(3)

暦と大の月・小の月 寺井 正文
3月例会報告(第319回)

「金鶏伝説」室田卓雄氏 (井川)
古文書講座(第137回)「山崎街道

人馬通行につき願い」石川道
子先生 (井川)

◇345 (30-5) 2013.5 B5 8p

巻頭言 古文書苦楽部より(4)

暦と大の月・小の月(2) 寺井 正文

4月例会報告(第320回)「賤ヶ岳

七本槍のその後」一子孫は江戸

時代をどう生き抜いたか?—

柴谷武爾氏/「女真海賊(刀伊)

に拉致された石女と阿古見」—

『小右記』に記された「申文」

を中心に— 片倉穰氏 真野 尚子

4月見学会報告 平成25年4月14日

(日)「一明治維新の魁け—

天誅組の足跡をゆく」案内講

師:入野清氏 (久保)

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家

1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

◇55 2013.4 B5 99p 1500円

紀州湯河荘司とその同族諸氏(上)

佐久安原氏の出自について 安原 繁俊

珍姓のルーツ(20) 中田みのる

真説津軽為信物語(後の3)一大石

内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤

か、時慶卿記の真実 佐藤 博

平家版京都真野家の遠祖(3) 真野 幹也

肥前の相良氏について(2) 相良 一夫

比留間氏のあゆみ—分布調査編 比留間和憲

薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話

刀鍛冶の里(3) 浪平 博司

一ノ宮の祭神と神々の系譜(5) 川村 一彦

表紙家紋について 抱き沢湯 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家

1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/

◇44 2013.4 B5 8p

巻頭言 開沼 正

家系研究協議会 平成24年度冬の

例会報告「ルーツ研究の家紋

をどう活用するのか」小林雅成

氏

例会での質問の回答

裏紋について、女紋について 小林 雅成

家研協たより/家系研究協議会次

回例会予定

珍名さんいらっしゃい(41) 真野 幹也

図書出版案内/受贈図書・資料

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327

TEL072-251-2586 年2400円

◇348 2013.4 A5 24p 200円

『河童の三平』細見(3) 和田 寛

◇349 2013.5 A5 20p 200円

河童の文化史 平成期(21)

平成24年(2012年) 和田 寛

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11

椋本進方 TEL0721-52-3394

年3000円 1979年創刊

◇55 2013.4 B5 109p

巻頭言 椋本 進

岩涌寺 竹鼻 康次

明治33年発行の「南河瀛車之旅」

について 松本 弘(裕之)

膳所藩役屋敷と郷代官久保甚右衛

門のこと—膳所藩郡方日記から

松尾巴留美

南光寺に残る墓誌

—河内の在村知識人の交流 松尾巴留美

鬼住村研究・鬼住村住民の暮らし

(1) 犬養広麻呂のこと 中筋喜春(喜昭)

河内長野市のぶらぶら歩き

—聞き取り 井上 元良

荒前井路の水利組合行事と放場に

ついて 伏井 邦彦

郷土発身の武将 竹鼻 康次

河内長野の鋳物業について 竹鼻 康次

明治5年・堺県発行の教科書「市

郡制法」について 松本 弘(裕之)

オセタを背負わせてもらう

—河内長野と紀州白浜 玉城 幸男

続 日本一美しい墓地都市(墓地と

の共生)(4)終 浅井 五郎

報告 第13回知ったはりまっか?

河内講座 椋本 進

平成24年度事業報告 井上元良/杉田定嗣

河内長野市文化遺産活用事業実行

委員会(文化庁支援)事業(平成

24年度) 椋本 進

河内長野市文化連盟事業報告(平

成24年度) 椋本 進

記念事業委員会報告(平成24年度)

安原 幹也

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13

上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇761 2013.4 A4 8p 300円

最古の祭「葵祭」の背景 猪熊 兼勝

—針葉師笠石仏と王寺周辺の石造

文化 狭川 真一

◇762 2013.5 A4 8p 300円

六波羅と三十三間堂 赤川 一博

行基の足跡を訪ねて(4)

—大和とその周辺 泉森 皎

- ◆近畿民俗 近畿民俗学会
〒547-0031大阪府平野区平野南4-2-5
Tel.06-6709-8533 1949年創刊
- ◇180 2013.3 A5 56p
平成24年度年次大会基調講演 ム
カシのことを忘れたか—望郷七
十年 原 泰根
トルコ共和国ハジュベクタシ町に
見られる「呪術」の変化—イス
ラームと「民間信仰」を考える
佐島 隆
新四国八十八ヶ所の建立の申請手
続き—播州円融寺の場合 奥山 芳夫
人と鳥—『日本農書全集』にみる
共生のかたち 佐野 尚子
- ◆堺研究 堺市立中央図書館
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
Tel.072-244-3833
- ◇35 2013.3 A5 104p 600円
表紙解説 「堺市旧庁舎」岸谷勢
蔵 昭和19年3月筆
口絵 堺市立中央図書館所蔵 岸
谷勢蔵画「堺市第一次疎開地区
記録」
明治期堺市中の小学校日誌を読む
(2)—錦小分校・錦西尋常小日
誌抜萃から 和田 充弘
大阪府堺市に出現した環状放射の
街区をもつ大美野田園都市 和田 康由
郷土画家岸谷勢蔵と堺市立中央図
書館蔵「堺市第一次疎開地区記
録」 矢内 一磨
- ◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 Tel.06-6652-4511

- web1.kcn.ip/kojyo_tomonokai/
◇532 2013.4 B5 22p
北勢 采女城・田光城・千種城ほ
かを探訪します(5月・第595回
例会のご案内)
6月・第596回例会の予告(大阪歴
史懇談会と共催)／セミナー等
のご案内／城郭ニュース(新聞
記事提供者)／尾原会長所蔵写
真より 大坂城南外堀 昭和45
年ころ(1970)
3月・第593回例会の報告
甲賀 土山城、黒川氏城、大河
原氏城、音羽野城 中西 徹
近江黒川氏城 鳥瞰図 川端 義憲
会員通信 大和国の中世城館(4)
城内動線を考える 星野 直哉
受贈図書・資料
新聞記事紹介
◇533 2013.5 B5 22p
史跡 御土居堀、船岡山城を探訪
します(6月・第596回例会のご
案内)
7月・第597回例会の予告／セミナ
ー等のご案内／受贈図書・資料
／城郭ニュース(新聞記事提供
者)
4月・第594回例会の報告 摂津
多々部城、滝山城 平成24年度
4月14日(日) 周藤 匡範
縄張り図 星野直哉氏作図／鳥瞰
図 川端義憲氏作画
会員通信
大和国の中世城館(5) 文献史
料にみえる攻防の様相から 星野 直哉
訪ねてみませんか、後醍醐天皇
と足利尊氏 井上 節子
新聞記事紹介

- ◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 Tel.06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇303 2013.4 B5 18p
天照大神と瀬織津姫—ホツマに登
場する廣田・六甲山周辺と社寺
・伝承との関連 大江 幸久
住吉大社参詣と新年会、四天王寺、
御勝山古墳見学(2) 宮田佐智子
「江口」考 西行法師と「江口」
の遊女(妙) 金谷 健一
バス旅行のご案内 小川 滋
◇304 2013.5 B5 12p
東大寺領猪名荘とその絵図 市 大樹
天理市中部袖之内古墳群を訪ねる
山口 久幸
- ◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
Tel.0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇38 2013.3 B5 8p
登録博物館への登録と入館者数
100万人 俵谷 和子
寄贈資料一覧(平成24年6月～平成
25年3月、敬称略)
- ◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 Tel.0798-33-0321
◇541 2013.4 B5 8p
平成25年度定例総会 記念講演会
「神宮式年遷宮の意義」神宮禰
宜 渡邊和洋氏
神宮式年遷宮の概要／第62回神宮
式年遷宮の諸祭儀
“龍馬脱藩”文久二年土佐袴原(3)

- 二宮 健
紙の歴史と文化・名塩和紙の里(6)
山下 忠男
◇542 2013.5 B5 8p
博物館見学 西宮市大谷記念美術
館と西宮市立郷土資料館見学
平成25年度 ごあいさつ 山下 忠男
平成24年度 事業報告／西宮文化
協会 会則／平成25年度 事業
計画
西宮史談会・西宮文化協会 略史
- ◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 Tel.078-871-0555
年3000円 1962年創刊
◇297 (52-2) 2013.4 A5 49p 600円
《特集 50周年記念号4
開港地・神戸の点描2》
湊川神社境内の店舗営業—1901年
境内建物立ち退き問題を手がか
りに 吉原 大志
小寺邸襲撃事件の展開と背景 稲田 真也
書評 木津力松著『兵庫県・治安
維持法犠牲者人名録』 久保 在久
「美濃部親子文庫」と美濃部研究
会について 宮先 一勝
動乱期の青少年教育史話 ああ筒
台の辺に一戦中戦後を生きた中
高生の記録(10) 森田 修一
現地見学会と検討会
歴史のなかの兵庫津と兵庫城
宮崎さんが代表退任
後任は木南弘さんが復帰
52巻1号「ラジオ塔遺構について」
に訂正／「兵庫の庭園再訪(5)
旧内田邸庭園について」に訂正
新聞地域版を読む

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要

〒631-0062奈良市帝塚山7-1-1
TEL0742-32-5708 2000年創刊
◇15 2013.3 B5 39+31p
三重県伊賀市長田における地蔵信
仰と境界領域 加藤 綾香
学位論文・審査結果報告
神と仏をめぐる民俗宗教の研究
高田 照世
わが国十六、七世紀における景
徳鎮民窯を中心とした青花磁
器受容の様相 中路のぶ代
軒丸瓦からみた古代日韓交流 梁 滄鉉
資料紹介
大和片岡地域の瓦―帝塚山大学
附属博物館所蔵資料の紹介
伊藤真琴／河村卓／田中雪
樹野／西垣遼／清水昭博
帝塚山大学大学院所蔵「永原村
文書」目録と解題 中根 麻貴
彙報 2011年度の日本伝統文化専
攻の動向／『帝塚山大学大学院
人文科学研究科紀要』既刊目録

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊
◇44 2013.3 A5 106p
中世大和の講集による地蔵信仰 赤田 光男
近世大和の年中行事―『弘化四年
未正月改 年中行事并家事取極
記 宇山萬助』を中心に 高田 照世
「日本の戦争絵画」における「負」
の表現とその変遷について―日
中戦争からアジア太平洋戦争期
を中心に 中村 孝行
資料紹介

法具絵図考(1)―「五種鈴之圖」
について 関根 俊一
石和見閑志 白井伊佐牟／岡本彰夫
龍津寺所蔵「十界之図」の紹介
大高 康正

◆紀南・地名と風土研究会会報

〒646-0003和歌山県田辺市中万呂207
桑原康宏方 TEL0739-22-0483
年2000円 1985年創刊
◇51 2013.4 B5 28p
古代熊野の氏族とその代表である
氏人 阪本 敏行
由緒書にみる先祖の明治維新 若林 春次
紀路を描いた中世の鳥瞰図―フリ
ア美術館蔵『熊野宮曼荼羅』 橋本 観吉
覚え書き
近世の王子社と九十九王子社 桑原 康宏
地名は警告する「熊野の地形・地
質と地名」―那智川流域を中心
に 田中 弘倫
新刊紹介 山本殖生著『熊野 八
咫鳥』(原書房)、太宰幸子著『災
害・崩壊・津波地名解』(彩流社)
表紙写真説明―熊瀬川の田掻き

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市
教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊
◇19 2013.5 B5 4p
伊勢から熊野へ 巡礼の道、伊勢
路 小倉 肇
世界に向けて―新年度にあたって 金山 明生
平成25年度国際熊野学会大会「伊
勢路の観音信仰と巡礼」平成
25年6月22日(土)～23日(日)

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312
江本英雄方 年3000円 1980年創刊
wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp
◇64 2013.5 A5 100p
和歌山平野における水利事業と集
落の動態について―弥生時代か
ら古墳時代を中心に 大木 要
近世中期における紀州藩地士の信
仰―湯橋長泰を事例に 佐藤 顕
紀州藩における胡乱者改 白井 陽子
研究ノート
和歌山市大同寺鏡にみる「蓬萊
鏡」成立についての予察 清水 梨代
旧近露春日神社部材の可能性 山本 新平
伊都地方における地主と富農の
作徳米 廣本 満
地方史のひろば 和歌山城の鯨は
「別称・龍城」を表現か! 水島 大二
彙報 和歌山地方史研究会の活動

中国・四国

◆北東アジア文化研究

鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811 1995年創刊
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html
◇36・37 2013.3 A5 80p
日韓両言語の身体語を含むことわ
ぎの語彙に関する比較研究―頭
部をめぐる 賈 惠京
竹島一件と安福龍問題 内藤 正中
日露海戦と竹島=独島の軍事的価
値 朴 炳涉
研究ノート 梁伯戈・小孟鼎に見
える「鬼」について(2)―『西周
銅器時代』(陳夢家)を読む 藤本 直子
報告 韓国羅州市都市再生事業に

ついて 齊木恭子／野津和功
訃報 内藤正中先生

◆郷土石見

〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇92 2013.4 A5 146p 1200円
表紙写真 浜田城址(浜田市殿町)
松谷 敏秀
回想・東京オリンピックの旗手、
福井誠―浜田高校時代・八幡製
鐵時代 福井壽美子／福井七郎
和紙と石州半紙について 中 政信
明治16年鬱陵島を退去させられた
石見の人達 杉原 隆
「竹島学習」と郷土学習―「竹島学
習」リーフレットをめぐる疑問
竹内 猛
畑ヶ迫口製鉄遺跡出土鉄滓で鍛鍊
された短刀について
森岡弘典／森脇明彦／三上貞直
民話が語る石見銀山への道 高橋 悟
「邑智六調子舞」論 竹内 幸夫
中世石見の浄土仏教について 小林 俊二
町から村から
駅鈴がなくなると浜田と松阪
一わが町の碑 斎藤 晴子
石見の方言 神本 晃
志都岩屋神社の薬清水 大矢 幸子
資料
邑智郡日和村の由来(1)―六世
紀開拓の「おおみ・大見」 久守 藤男
島根県邑智郡邑南町矢上・清水
屋本田植歌集(2) 田中 瑩一
文芸 ふるさと応援歌 藤本 欣哉
追悼記
竹内幸夫先生を悼む 岩町 功
竹内幸夫会長を悼む 宮本 巖

竹内幸夫前会長を悼む 吉田 豊明
故内藤正中先生を偲んで 児高 房夫

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1
稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp
◇174 2013.3 B5 96p
《出雲大社「平成の大遷宮」特集号》
本殿遷座祭を迎えるにあたり 千家 尊祐
「平成の大遷宮」—昭和から平成へ
いよいよ結ばれる蘇りの年 出雲大社
御神木流し覚書 渡部 正毅
天下無双の大廈、国中第一の霊神
—出雲大社遷宮史 西岡 和彦
出雲のダイコクさんと大社御師 岡 宏三
企画展 平成の大遷宮 出雲大社
展 古代出雲歴史博物館
出雲地域の歴史と文化(5) 出雲
平野の築地松について—斐川地
域を中心として 宍道 年弘
出雲地域の歴史と文化(6) 近世
出雲西部における村落間の入会
齋藤 一
島根半島西武沖天山丸空襲につ
いて 高塚 久司
大社の音楽人 全国に羽搏く(1)
オペラの福島明也 渡部 智
出雲の狛犬について 藤原 慧
コラム 「弁天島」はかつてはど
う呼ばれていたか? 編集部
大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創
る(8) ふるさとの愛を育む「佐
儀利」と「神楽」 赤塚神楽佐儀利保存会
出雲弁よもやま話—あいさつ 村上 清子
消えゆくもの(39)—「お百度参り」
と「千度参り」 春木 芳子
日本海運史料紹介(5) 出雲国鷲

浦船問屋讃岐屋旧蔵 船御改控
帳 藤澤 秀晴
お墓のカタチ 穴・箱・部屋—出
雲の埋葬の歴史 出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季
開館20周年を迎えて 佐々木杏里
読者コーナー 編集部
大社史話会ホームページ
シワシワ日記 編集部
平成24年10月～12月出雲市大社町
年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇46 2013.4 A4 10p
明石掃部について 大西 泰正
遠藤家文書・宇喜多秀家觸状につ
いて 小川 博毅
高島地区の「鹿垣」は龍ノ口城の
戦闘遺構ではないか 矢吹 壽年
物語直家記伝 乙子の城 第16回
伴侶(2) 山重十五郎
平成25年度 宇喜多家史談会総会
報告 石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156
年1500円 1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇129 2013.5 B5 52p
岡山藩前期における儒葬墓—藩主
及び家臣・陪臣を中心にして 北脇 義友
岡山藩池田家における分家大名へ
の認識とその活動 藤尾 隆志
博物館・展示めぐり

京都国立博物館 特別展覧会
「宸翰 天皇の書—御手が織
りなす至高の美—」(2012年
10月13日～11月25日)を観覧
して 辰田 芳雄
岡山県立記録資料館 平成24年
度企画展「おかやまの名物・
名産」 東野 将伸
岡山県地域史研究文献目録
(中世の部)

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇285 2013.4 A5 46p
講演 幕長戦争と大竹 三宅 紹宣
史料紹介 厳島の奉納鏡—菊花散
梵字鏡について 脇山 佳奈
歴史余滴 高野山領大田庄の領域
における宝篋印塔について 植田 崇文
2012年度 芸備地方史研究会大会
記事
研究報告要旨
大倉組山陽製鉄所について 望月 英範
和田家文書の整理事業について 石田 雅春
瀬戸内海の俵物生産について 門田恭一郎
動 向
新聞記事から(2007年7月～12月)
広島県の地方史研究
芸備掲示板
“第26回全国菓子大博覧会・広
島”協力 特集展「頼家の甘
味—江戸時代の菓子文化—」
頼山陽史跡資料館
収蔵文書展「海の道」の近世—
瀬戸内の景観と生活・交流の

歴史 広島県立文書館

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingohistory.net
◇171 2013.4 A4 24p
足利義昭と「料所」 田口 義之
論考 研究余話 山名理興出自に
ついて 木下 和司
備探クイズ 読めるかな?
レポート 四ツ堂創建伝承の謎 田口 由実
古墳講座
横穴式石室探訪の手引き 網本 善光
研究レポート 尾道の山根(屋)系
石工と石造物について(狛犬を
中心に) 岡田宏一郎
レポート 備後地方中世石造物の
建立目的 根岸 尚克
石造物調査のお知らせ／ぶら探訪
拾壺 申込受付中
懐かし写真館
郷土探訪 連載「川筋を訪ねて」
(2) 鶴ヶ橋と横尾界限 種本 実
例会報告 初めて見た楼門内部
ぶら探訪マニア
例会俳句 福山城本丸～三之丸を
歩く—ぶら探訪に参加して 住田 保夫
ぶら探訪 拾 両備軽便鉄道を歩
くに参加して 野村 秀樹
例会参加の感想募集!／例会俳句
番外編
「両備軽便鉄道を歩く」に寄せて
両備軽便鉄道のラッキョウ汽車
ワンショット・例会レポート—道
上地域の地域史を訪ね歩く
山城レポ 『信長公記』信長近江
侵攻の城「箕作山城跡」 末森 清司
備探ニュース 「大門貝塚」記念

碑の除幕式がありました。
大分便利 白龜献上 後藤 匡史

◆**広郷土史研究会会報**

〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
1998年創刊

◇114 2013.5 A4 23p
広島水力電気株式会社広水力発電
所の郷原村水源地 写真：賀茂
郡志・大正5年刊より転載 上河内良平
明治43年内務省表彰
全国一の模範村広村のその後 小栗 康治
第二音戸大橋開通
平成25年(2013年)3月27日 小早川 諭
平成25年度・広郷土史研究会総会
資料 吉田 顕治
古文書部会の報告／例会の主な感
想／例会報告／第107回例会の
お知らせ 模範村広村のその後
小栗康治

◆**みよし地方史 三次地方史研究会**

〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
1987年創刊

◇90 2013.4 A4 10p
幕末期の甲奴郡地方 藤原 一三
盗賊の横行―三次市志和地町 山
田家御用控より 立畑 春夫
浅野氏と稲荷(稲生)神社 後藤千賀子
三次盆地の前方後円墳(6) 天狗
松南第四号古墳―調査報告 加藤 光臣
三次地方の地名あれこれ(23)
やすみどん(三次市向江田町) 上重 武和

◆**わが町三原 みはら歴史と観光の会**

〒723-0062広島県三原市本町1-9-27

福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
◇265 2013.4 B5 12p 100円

表紙 沼田川河口の桜
今月の各地 沼田川河口の桜 正兼 鐵夫
孝行息子の心温まる伝説
山中野の出雲石 岡本 雅亭
平氏と三原(2) 平家伝説(つづき)
／平家落人伝説 大谷 和弘
三原のあゆみ(7)(芸陽日々新聞
創刊20周年記念誌より) 郷土
史略年表(つづき)

◇266 2013.5 B5 12p 100円
表紙 双鷲洲の景観
今月の各地 桂田濱 大谷 和弘
追悼文
大藤直也氏逝く 福岡 幸司
伊野木さん 追悼 福岡 幸司
我が国「近代土木の創始者」真田
秀吉工学博士(1) 西原 達夫
三原のあゆみ(完結編)(芸陽日々
新聞創刊20周年記念誌より)
郷土史略年表(つづき)

◆**やまぐち学の構築**

山口大学研究推進体「やまぐち学」推進プ
ロジェクト
〒753-8511山口市吉田1677-1
TEL083-933-5000

◇9 2013.3 B5 120+58p
巻頭言 田中 誠二
萩藩の財政と御用達商人 田中 誠二
明治期山口県の魚市場慣行調に見
る魚問屋仕入制度の諸相(上)―
近世防長漁業の内部構造・地域
類型解明の手がかりとして 木部 和昭
幕府普請役への萩藩の対応をめぐ
って 森下 徹
萩藩「宰判宿駅」における継送り

の諸相―林勇藏家文書を中心に
中野美智子
「山口の連歌と俳諧―宗祇から菊
舎まで」展 概要 尾崎 千佳
重要文化財建造物内田家の住まい
と暮らし 坪郷 英彦
山口県域に投影された畿内政権の
動静 田中 晋作
棒状鉄器考 村田 裕一

◆**徳島県立博物館研究報告**

〒770-8070徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1991年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇23 2013.3 B5 135p
論文 愛媛県伯方島の魚類相 辻 幸一
資料紹介 徳島県立博物館所蔵の
古代瓦―徳島県立工業高等学校
寄贈資料 岡本 治代
調査報告

出羽島のカツオ・マグロ漁と機
付帆船第壱号蛭子丸の公開日
誌 磯本 宏紀
高知県の鮮新―更新統唐ノ浜層
群穴内層から新たに確認され
た貝類(6) 三木健二／中尾賢一
徳島県におけるエサキアメンボ
の記録 大原賢二／林正美／山田量崇
徳島県における外洋性ウエマメ
ンボ3種の記録
大原賢二／林正美／山田量崇
アサギマダラの移動に関する徳
島県の記録(2012年)
大原賢二／山田量崇
徳島県吉野川の干潟で記録され
た底生生物相と河口域の生物
多様性の保全 和田 太一

徳島県および和歌山県の微小漂
着種子に関する予備的調査
米田稀美／生駒直紀／土屋正行／
谷口舜／近藤茂則／濱直大／茨木靖
短 報
徳島に漂着したオニガシ *Lithoc
arpus lepidocarpus* (Hayata)
Hayata の果実についての記
録 濱直大／茨木靖／許再文
徳島県産の新帰化植物カロライ
ナツユクサ(ツユクサ科)につ
いて 小川 誠
徳島県におけるハタバカンガレ
イ *Schoenoplectus gemmifer*
C.Sato T.Maeda et Uchino
の生育状況
茨木靖／小川誠／木下覺／成
田愛治／中村俊之／矢野興一
徳島県に漂着したヒメモダマ
Entada phaseoloides (L.) Merr.
(ネムノキ科)の発芽試験 茨木 靖

◆**秦史談 秦史談会**

〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊
◇174 2013.5 B5 65p
表紙 井(ゆ)ノ神様(中秦泉寺) 松下 政司
秦の昔話 その30 東谷の巻(1)
子ども好きな神様(岡三所神社)
(「こうち童話」から) 永野美智子
秦築の絵金(2)
愛宕神社の絵金・絵馬 松本 紀郎
二つのお龍聞き書き 岩崎 義郎
土佐路の野口雨情(7) 永国 淳哉
続・坂本龍馬が現代に生きている
龍馬像の変遷(2) (2)昭和前期
―坂本龍馬の銅像建設など 広谷喜十郎
地名往来472 「入定」入滅した僧

の伝説(『高知新聞』より)
 日中の尖閣問題について日本史を
 みる 常石 芳英
 永国先生の「土佐路の野口雨情」
 関連(5)「秦史談」第173号関
 連/土讃線の全通について 溝渕 匠
 戦国時代の北部九州の武将達 笹原 保博
 文政の旅日記(2) 鍋島 静一
 「ローカルジャーナル 秦史談」
 (『高知新聞』より)
 楠瀬大枝の周辺(7) 土方家のこ
 となど/楠瀬大枝の周辺(8)
 瑞応寺など 和田 豊子
 戦史16 シベリア抑留日本兵の軌
 跡(5)一司馬遼太郎 抑留を免
 れる 毛利 俊男
 紙芝居 寺田寅彦(母校 江ノ口
 小学校) 永野美智子
 土御門上皇と四国路(5)
 10日御所村の土御門上皇遺蹟 溝渕 匠
 夏の陽ざしの中で(1) 松本 紀郎
 秦史談会 30周年記念事業 予定
 事務局
 地震教訓記した命の碑 南国市の
 歴史館 県内24基の拓本展示
 (『高知新聞』より)

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院
 〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ
 ウス3階 TEL092-643-7075 1979年創刊
 ◇117 2013.4 A5 192p 1238円
 グラビア「過去は、実在したの
 か?」「歴史は、実在したの
 か?」津田左右吉流「実証主
 義的文献批判学」への根源的、
 哲学的疑問
 《特集 纏向遺跡の年代》

纏向を探求するさいの心構え 森 浩一
 纏向古墳群の築造年代 これら
 は、四世紀の崇神・垂仁・景行
 天皇時代の古墳だ! 安本 美典
 入門・統計的年代論(3) 安本 美典
 榛名山(群馬県)F A噴火の炭素14
 年代について 新井 宏
 ネアンデルタール人の謎 清野 敬三
 海の民 宗像(4)
 一玄界灘の守り神 太神 美香
 九州古代紀行(19)
 修験道の聖地 英彦山を往く 加藤 哲也
 ブッダへの道(3)一法蹟が見た五
 世紀初頭のアジア 河村 哲夫
 投稿原稿
 「狗奴国」東国説を疑う 荒竹 清光

◆末盧国 松浦史談会
 〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1
 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊
 ◇193 2013.3 B5 20p
 唐津市重要文化財
 木造聖観音菩薩坐像 志佐 惲彦
 唐津、土地の記憶(3)
 砂丘の上と生活の基盤 田島 龍太
 馬渡島大火百年一今も続く心の絆
 熊本 典宏
 赤穂義士と天草の乱(4) 寺沢 光世
 早稲田関係の唐松関係史料 寺沢 光世
 唐津の郷土史で語られていない真
 実の史話(2) 梅北国兼の秀吉
 への反乱と国兼の妻の名護屋城
 内庭における焼刑 中里 紀元
 筒形銅器から見る東アジアの動き
 と倭の古代国家づくり一金官伽
 耶から倭の豪族たちに贈られた
 威信財 堀川 義英
 トピックス 岸岳城「伝三左衛門

殿丸跡」一三左衛門とは誰か?
 史料で読み解く虹の松原一揆の実
 像(2)『御屋形日記』・『唐津御
 領分中百姓虹松原寄合一件』に
 みる一揆の展開/明和年間の社
 会情勢/頻発する一揆への幕府
 の対応 山田 洋

◆国見物語 国見町郷土史研究会
 〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-
 1401 国東市教育委員会 国見分室
 TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊
 ◇32 2013.4 B5 108p 1000円
 巻頭言 くにさき文化の再発見 末綱 巖
 大熊毛地区のお接待について 土谷 和光
 向田地区におけるお接待について
 末綱 巖
 築島の今昔 廣末九州男
 古文書グループ研究 研究テーマ
 「上伊美村議員選挙録」を読む
 廣末九州男/他2名
 寺川家の人々(4) 寺川駿一郎
 大蔵姓 小串氏の研究(12) 小串 信正
 「中須賀・友安・浜中」を中心と
 する地域の歴史と文化をたずね
 て 末綱 巖
 宇佐宮・神仏習合の歴史を訪ねて
 末松洋一郎
 シルクロード東側(中国)を訪ねて
 永井 輝生
 コラム
 豊前の吉吾郎さんの話 その1
 雷さまのFUN(1)
 雷さまのFUN(2)
 豊前の吉吾郎さんの話 その2
 かねの鳥居
 表紙説明 川西区・小亀池記念碑
 事務局より 平成24年度事業報告

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会
 〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18
 阿多利昭方 TEL099-253-1775
 年4000円 1950年創刊
 ◇143 2013.5 B5 92p
 表紙写真解説
 黒島片泊の太鼓踊(三島村) 所崎 平
 しか祭り一2月17日
 七狩長田貫神社 山内 裕子
 みんぞく・かわらばん
 浅山棒という棒踊 所崎 平
 「ホトケバヤサン(仏婆様)」を母
 とする「隠れ念仏」一シャーマ
 ンと「ウチノニヨウサン(内の
 如様)」(3) 森田 清美
 汝官窯の壺形香炉発見される! 徳留 秋輝
 天保山モノレール建設私案 牧 民郎
 康次正晴の油絵
 一明治初期の洋画の様相 所崎 平
 みんぞく・かわらばん
 藍染め一徳島藍と琉球藍 所崎 平
 沖永良部島での蛇の話覚書 本田 碩孝
 みんぞく・かわらばん
 秘結処方の一例 牧 民郎
 資料 鹿児島市の昔話(7)
 一大隅の昔話から 下野 敏見
 鹿児島県の「將軍舞」一付載 若松
 右京『將軍舞之次第』 星野 岳義
 みんぞく・かわらばん
 「猪の目」模様 所崎 平
 霧島修験 空順法印の日記につい
 て(13) 阿久根の火留め祈願
 「御日待」と「空順講」、「火の
 神祭り」の修験と民俗(前) 森田 清美
 資料 安永二年 次渡日帳 川
 邊郷 前床重治・編
 みんぞく・かわらばん
 歯、目、しようがない 所崎 平

◆季刊 沖縄 沖縄協会

〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
エー・ゼットキュウビル5階
TEL03-5803-2341 1996年創刊
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇44 (18-1・2) 2013.4 A4 68p 300円
沖縄における地域医療・介護につ
いて 岩尾 聡士
亜熱帯沖縄の木や森や里山(4)
亜熱帯の森のかたち(下) 新里 孝和
与那国島一大地(ウフジ)と離(ハ
ナレ)の琉球史(4) 高良 倉吉
沖縄戦を生き抜いて 吉嶺 全一
第34回沖縄研究奨励賞
受賞記念講演
琉球列島の植物の多様性と意義
について 瀬戸口浩彰
沖縄産栽培作物を脅かす未知病
害の同定・診断と環境配慮型
防除技術の開発 田場 聡
食器生産と流通からみた琉球列
島—11世紀~14世紀 新里 亮人
Topics/沖縄協会だより 東京事
務所、沖縄平和記念堂、寄金芳
名欄、参観校、寄贈図書、平成
25年度事業計画/沖縄覚書
寄贈絵画の紹介(39) 南風原朝光
作『置入瀬(4)』/沖縄平和記念
堂の案内

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8
下地和宏気付 TEL0980-72-9963
◇196 2013.5 B5 8p
5月定例会レジュメ 下地島・木
泊村跡調査について—明和津波
以前における津波検証を目的と
して 山本正昭/平良勝保/山田浩世

6月定例会レジュメ

人頭税と土地配分について 下地 和宏
3月定例会のまとめ「字(童名)」
の由来(起り)を考える 下地 利幸
平良好児賞に伊志嶺・上地の両氏
/平良好児句集『麻姑山』を登
行 宮川 耕次
第38回定期総会開かれる
—宮古郷土史研究会 久貝 弥嗣
ミヌズマ遺跡発掘現場見学会をお
えて 久貝 弥嗣
沖縄防災環境学会シンポジウム in
青山学院大学に参加して 久貝 弥嗣
宮古の歴史と文化の総合講座
県芸大で4月から14回開催
第24回企画展「野鳥展—知ってほ
しい宮古の宝—」の紹介 砂川 史香
憲法記念日に「アピール」発表
今年も「九条の碑」の前でつど
い 仲宗根将二
『宮古研究』第12号原稿募集
来間泰男著〈流求国〉と〈南島〉
—古代の日本史と沖縄史 仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆たくみのたくらみ きせる・たばこ盆・た
ばこ入れにみる職人の手技
たばこと塩の博物館編・刊 2012年11月 A
4 16頁
2012年秋季企画展(11月17日~1月14日)パン
フレット。たばこと塩の博物館が所蔵する喫
煙具を通して、実用品として機能すると同時
に、鑑賞に耐える美しさを備えた喫煙具に込
められた、職人たちの手技と心意気を紹介。
きせるで嗜む細刻み/きせる、たばこ盆、た
ばこ入れにみる職人の手技/素材の妙/番外
編 一服に必須の着火具

◆都筑・橋樹地域史研究

都筑・橋樹研究会編・刊(〒194-0044 東京
都町田市成瀬1-23-7 中西望介方)2012年9
月 A4 129頁
武蔵国旧都筑・橋樹郡(横浜市北部・川崎市)
の歴史と文化財の調査・研究を目的として20
06年に発足した都筑・橋樹研究会の調査・研
究活動の一端をまとめる。はじめに(中西望
介)/秩父平氏中山氏とその周辺(黒沢則博)
/小机島山開発からみる地域と権力(菱沼一
憲)/十日市場町のカンカナ横穴墓と中世の
五輪塔(相澤雅雄)/天正十九年都筑郡岡上村
検地帳を読む(1)(池上裕子)/近世史料に見
る小田原北条氏家臣山角家と小机領の「金貸
し」鈴木又右衛門家 附、恩田源氏山の慶長
五年「鈴木但馬」銘の墓碑について(久世辰
男)/近世墓塔から見た横浜市港北区新吉田
町の近世村落について(小股昭)/石川村・荏
田村境の「築地の土手」の一考察(横溝潔)/
伝武蔵国都筑郡黒須田村出身の刀工・小駒宗
太胤長について(林浩一)/「武州都筑郡恩田
村・成合村入会開発絵図」について—幕府
倒壊前夜の武蔵・相模入会秣場開発プロジェ
クト(久世辰男)/松野重太郎「秩父地方地質
巡検記」を読む(坂本彰)/鴨志田町南慶院
「森政吉先生顕彰碑」について—日本ビリヤ
ード協会を設立した郷土の風雲児(綾部宏)/
村の成立と鎮守・小祠に関する基礎資料 都
筑郡編(中西望介)/都筑・橋樹研究会 活動
のあゆみ(事務局 中西望介)
◆私の郷土史・日本近現代史拾遺
有泉貞夫著 山梨ふるさと文庫(〒400-0041
山梨県甲府市上石田2-7-8 TEL055-222-1919)
2012年6月 B6 300頁 1500円+税
私の郷土史(“中沢新一やまなしを語る”講
演者紹介口上、大小切騒動“三題”、青嶋貞
賢の時空(改稿増補)、明治の青春と行方—加
賀美平八郎と野中真、俳人蛇笥・龍太と戦争

(改稿)、書評・山本多佳子『樋口光治開書—
ある農民運動家の百年—』、“終戦”間近の記
憶、金丸信ノート、色川大吉氏への手紙、飯
田文弥氏寿喜賀宴あいさつ、貧乏県からの脱
却—ミニマム山梨県史、県史編さん発足ま
で)/私の日本近現代史(伊藤博文の夢と遺
産、明治天皇の船旅、書評・坂野潤治『明治
憲法体制の確立—富国強兵と民力休養—』、
書評・坂野潤治『近代日本の出発』、日露戦
争中の「征露」碑文禁止、「南京事件」のと
らえ方をめぐって、太平洋戦争史観の変遷、
戦後史教育の空白と課題、追悼・江口圭一—
歴史は、楽しめたか、投書原稿「日の丸」
と「君が代」は切り離そう!・A級戦犯分祀
は宮中へ!) /県立博物館問題など(甲州文
庫収蔵五〇年に寄せて—県立図書館シンポ報
告、県博シンポジウム フロアからの発現に
代えて、県博企画展批評 県立博物館特別展
への疑問・借りものの木喰展企画)

◆静岡県の城跡 中世城郭縄張り図集成

(中部・駿河国版)
『静岡県の城跡』編纂委員会編 静岡古城研究
会(〒426-0134 静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 TEL054-639-0648) 2012年7月 A4
307頁
静岡県教育委員会が669箇所の中世城館跡を
調査・集成した『静岡県の中世城館跡』(1981
年刊)をふまえ、静岡古城研究会が1972年の
創立以来の活動により新たに確認された城館
跡を追加した静岡県内の中世城郭縄張り図集
成。全800箇所超の城館跡のうち、本書には
静岡県中部(駿河国)374箇所を収録する。刊
行によせて/例言/本会の城郭研究の歩みと
調査概要(水野茂)/静岡県における城郭の歴
史的景観(小和田哲男)/河東地区(駿東郡・
富士郡) 駿東郡小山町、御殿場市、裾野市、
駿東郡長泉町、駿東郡清水町、沼津市、富士
市、富士宮市/山東地区(庵原郡・安倍郡・

有度郡) 静岡市清水区、静岡市葵区、静岡市駿河区/山西地区(益頭郡・志太郡) 焼津市、藤枝市、島田市、榛原郡川根本村/静岡県中部(駿河国)の城館分布図/参考文献一覧/索引

◆意宇郡(その2)

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会 (〒679-1214 兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555) B5 26頁

<http://www.eonet.ne.jp/~myouken-iseki/>

2006年8月から偶数月に開催されていた「播磨風土記」講座につづき開講されている風土記講座の記録集。講座『出雲風土記』第3回(2012.12.22 於的場村公民館)

語釈・注釈(母理郷～安来郷)/語釈・注釈(毘売埼伝説)/付論A 毘売埼伝説について/付論B 語部の虚像と実像/平安京大内裏図

◆後記

本誌108(2012.4)の後記で、2011年4月に「公文書等の管理に関する法律」(公文書管理法)が施行されたことと、地域に関わる映像記録や電子記録も含めたあらゆる記録物を永久保存して一般公開する機能としての「天草アーカイブズ」(熊本県天草市)の取り組みに触発され、公文書の公開がどれほど社会変革に必要であるかを記した。それから僅か1年半、今これを書いている2013年12月4日の夕刊各紙の一面トップには、国家機密の漏えいに厳罰を科す特定秘密保護法が6日に強行採決される見通し、との大見出しが踊っている。一体どういうことなのか。権力の濫用にならないようチェック機関を設けるといっても、政府内に置かれるのであれば殆ど意味はない。これより先、11月7日の「東京新聞」は、1972年に法務省が作成した日本国内での米兵の犯罪に関する資料が、同省の要請で2008年に全面閲覧禁止になったことを報じた。同資料は古書店に出回り、国会の委員会審議で使われたこともあるようなものだそうだ。特定秘密保護法が制定されればこうした権力の行使は大手を振ってまかり通り、常態化するのではなからうかと不安になる。「国及び独立行政法人等の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等が、健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、主権者である国民が主体的に利用し得るものであることにかんがみ、国民主権の理念にのっとり、公文書等の管理に関する基本的事項を定めること等により、行政文書等の適正な管理、歴史公文書等の適切な保存及び利用等を図り、もって行政が適正かつ効率的に運営されるようにするとともに、国及び独立行政法人等の有するその諸活動を現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにすることを目的とする。」。憲法に則った誠に見事な公文書管理法の第一条(目的)。どうかこの精神に立ち返ってほしい。(飯澤)

◆賀古郡(その2)一語釈・注釈

神崎勝著 NPO法人 妙見山麓遺跡調査会(同上) B5 18頁

講座『播磨風土記』第3回(2013.1.26 於柳田国男記念館) 賀古郡(その2)一語釈・注釈/印南郡一語釈・注釈/補論 印南郡条の冒頭部について、和銅官命の復元について(追考)/参考文献/巻末地図

◆講座「鉾山の歴史」第40回 平木鉾山の見学 NPO法人妙見山麓遺跡調査会紀要6 神崎恵子編 NPO法人妙見山麓遺跡調査会(同上) B5 26頁

2013年2月8日に開催された兵庫県加東市平木の平木鉾山見学会の記録。山の歴史第40回 平木鉾山(蛸石、ハットリ株式会社)見学 平成25(2013)年12月8日(月)下見、平成25(2013)年2月8日(土)見学

地方史情報 117 2013年(平成25年)12月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137
発行所: 岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南鳥山4-25-6-103 TEL03-3326-3757